

# Good Boy My Sweetie

Good Boy My Sweetie  
presented by Nekomanma  
R18

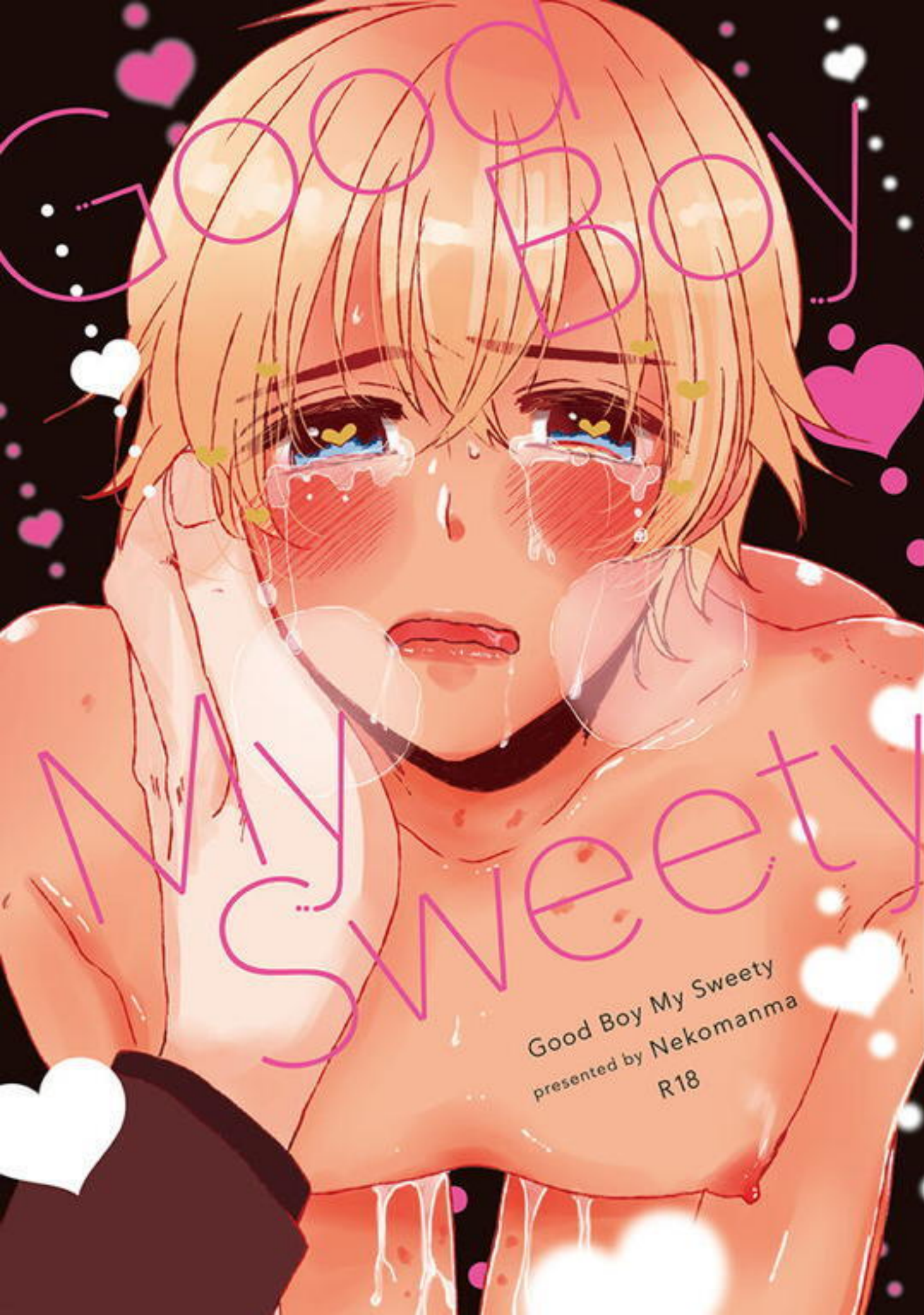


Detective Conan Fanbook #18

Akai Shuichi \* Furuya Rei







Good Boy My Sweetly

Good Boy My Sweetly  
presented by Nekomanma  
R18

Detective Conan Fanbook #18  
Akai Shuichi \* Furuya Rei





「れーい、  
よくがんばったな」

●ATTENTION●

この本は愛あるソフトSMがテーマです。  
どちらかと言うとれーくんを気持ち良くして、  
且つよしよしいこだな可愛いよぐずぐずセツがテーマ。

何でも大丈夫な方向け。

- ・れーくんがアナニーしてる
- ・玩具がちょいちょい出てくる
- ・電マ/玩具のお馬さん/ディルド/  
アナルパール(一コマ)/エネマグラ(1P)  
貞操帯/潮吹き/壁掛け拘束道具/小スカ
- ・軽いパンキング
- ・れーくんの\*\*\*が縦割れ

♥いっばいの喘ぎ方。

大事なことなので二回言いますが、何でも大丈夫な方向けです。  
ハードかと言われるとそうでもない、でも当社比ではえろ多めです。

全てOKの方のみでお願いします。



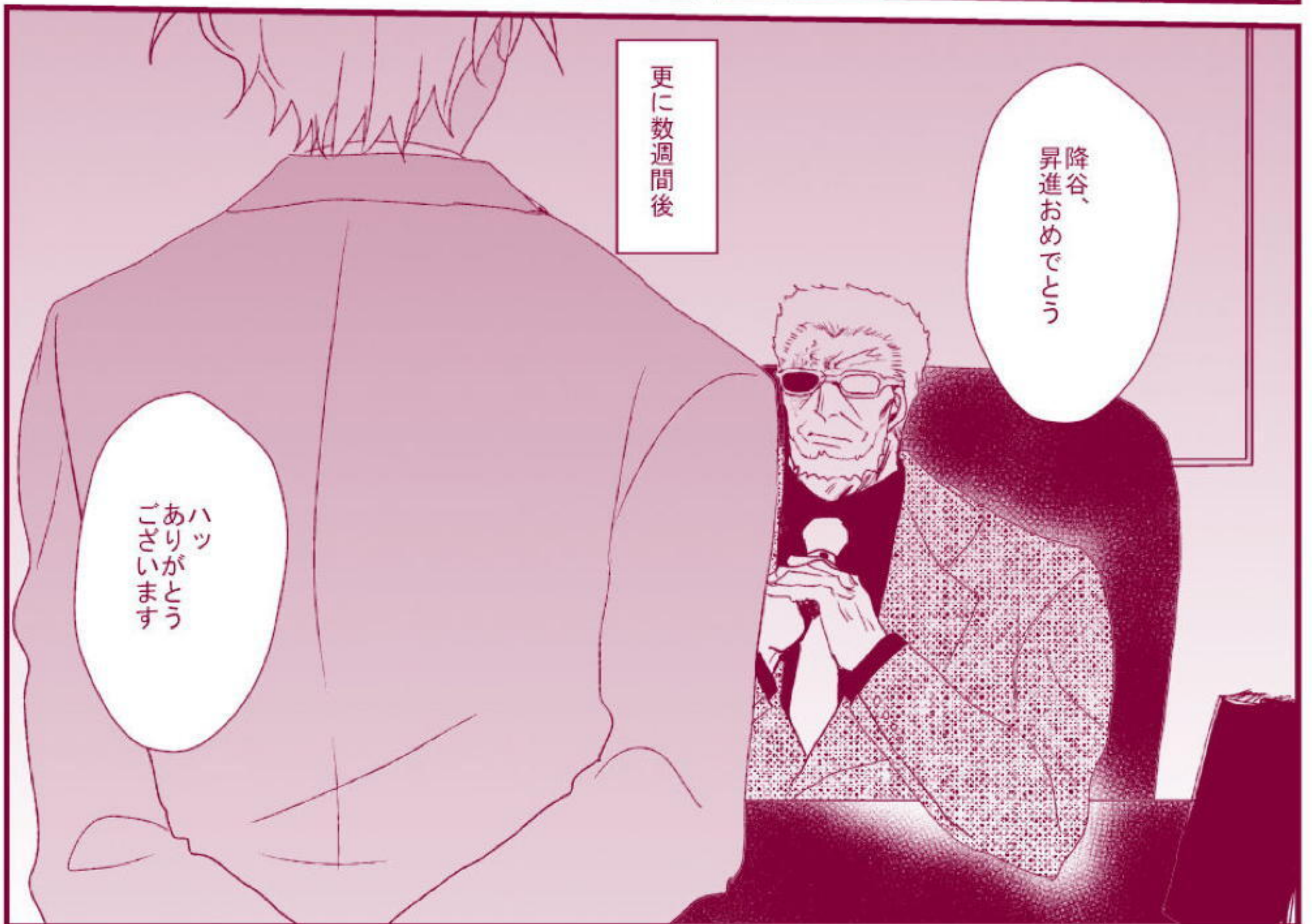


Episode. 01  
一人遊び













本当に……  
お前はよくやったよ



お前のような  
優秀な男を  
現場におかないと  
いうのは勿体ないが……

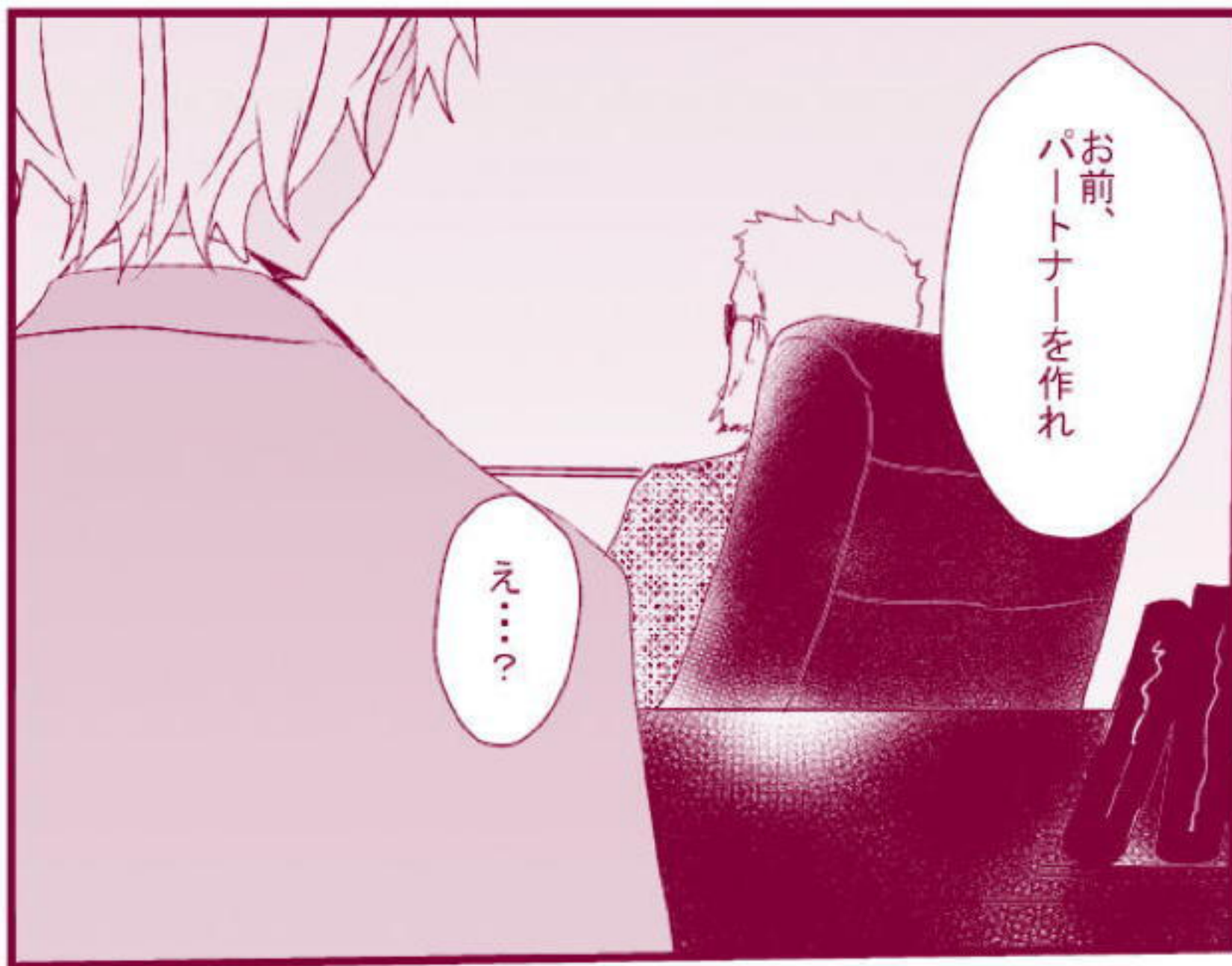
お前は一番の  
男盛りの時期を  
あの組織の中で  
過ごし、壊滅に導いた  
功労者だ……



ふむ……。

……





お前、  
パートナーを作れ

え……？



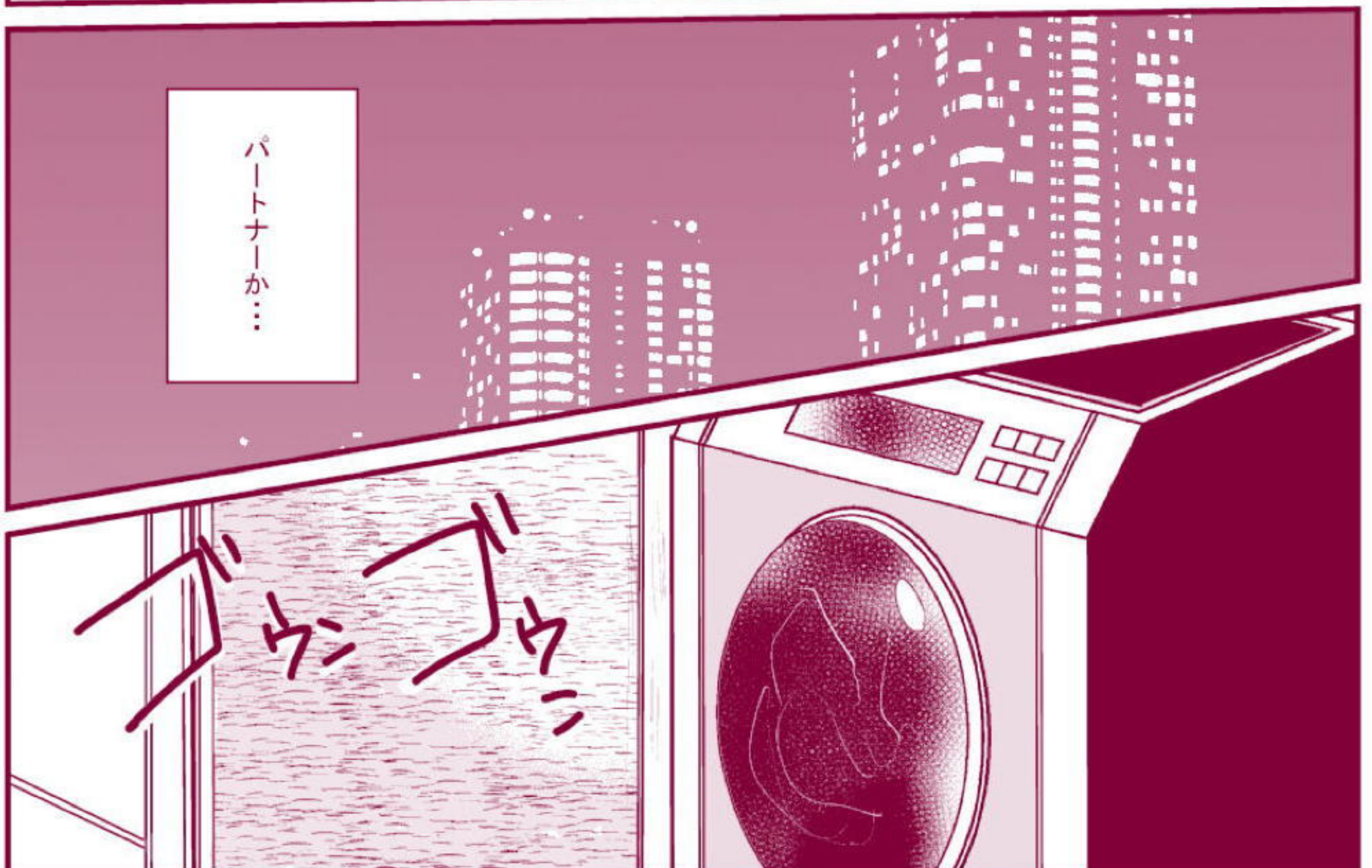
降谷



まあなんだ、  
今までみたいに  
常に命を危険に晒す  
ようなこともない

お前は甘えることを  
知らんようだからな、  
姐さん女房でも  
貰うと良いんじゃないか

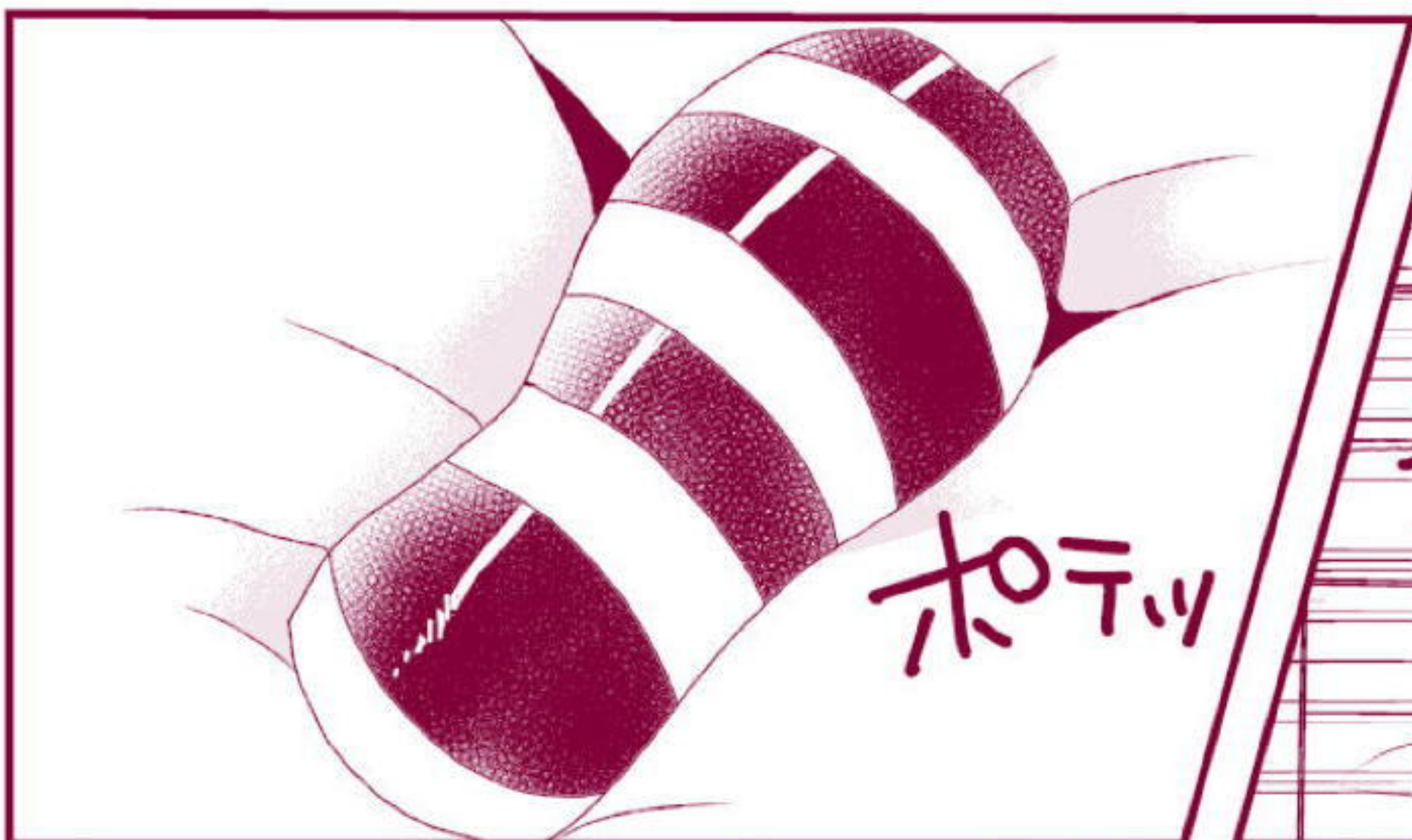
はあ……



パートナーか……

ダダダダ









はあ…

だめだ…

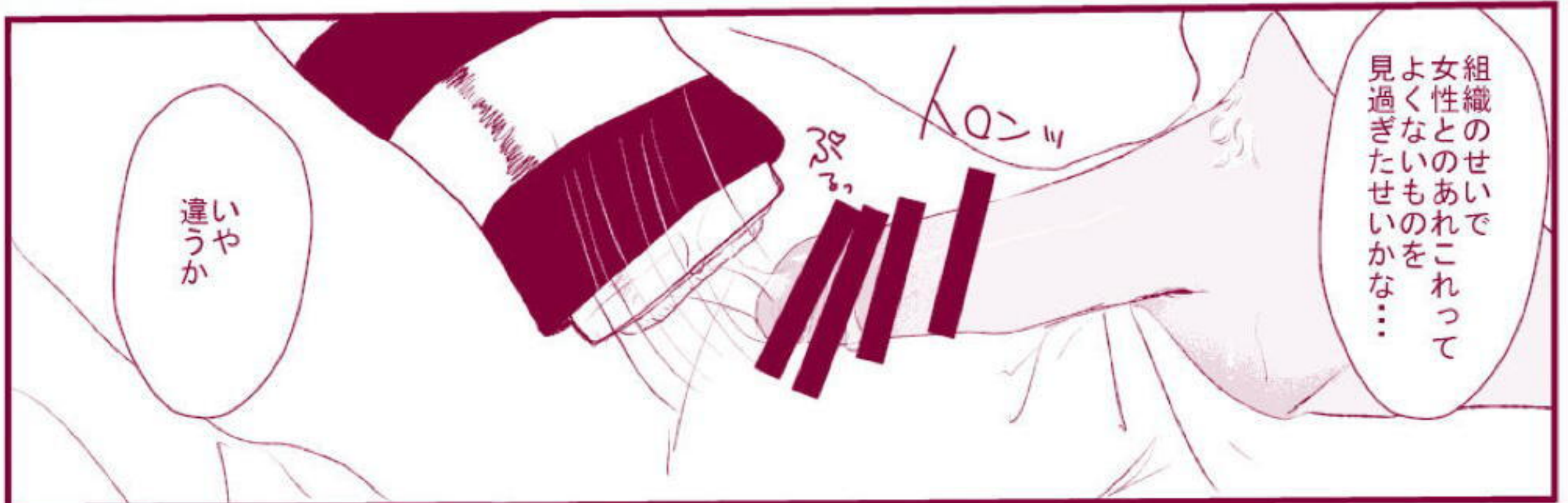
やっぱりなんか…  
気持ち悪いんだよな…

くち  
くち…



はあ…

くち  
くち



いや  
違うか

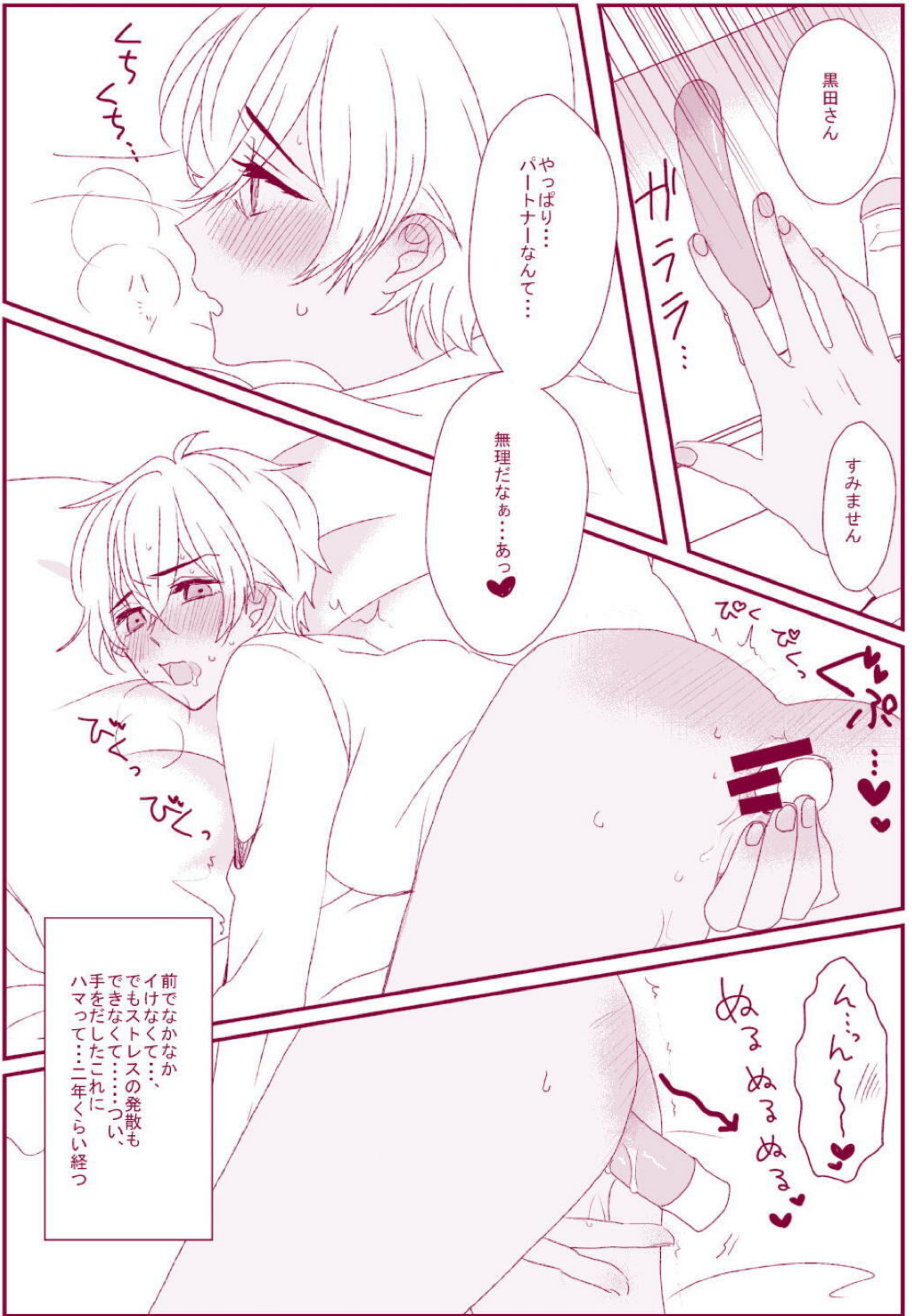
組織のせいで  
女性とのあれこれって  
よくないものを  
見過ぎたせいかな…



セックス  
したことないし

組織に入る前から  
…女性と





黒田さん

ガラガラ...

すみません

やっぱり...  
パートナーなんて...

無理だなあ... あっ

くちくち...

前になかなか  
イけなくて...  
でもストレスの発散も  
できなくて... つい、  
手をだしたこれに  
ハマって... 二年くらい経つ





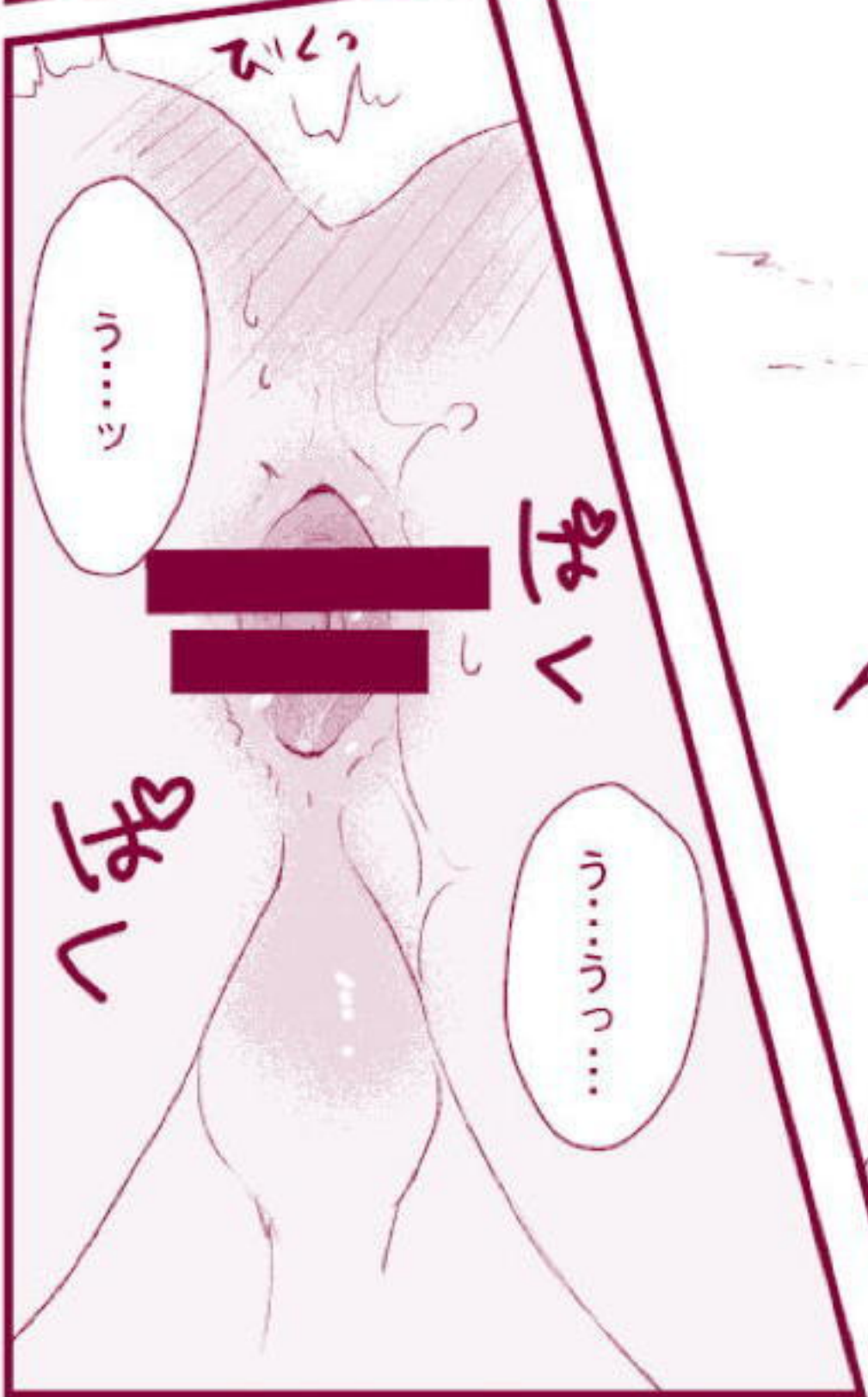
こんなことしてくれる  
女性なんて...

かと言って俺は  
男が好きな訳じゃない...

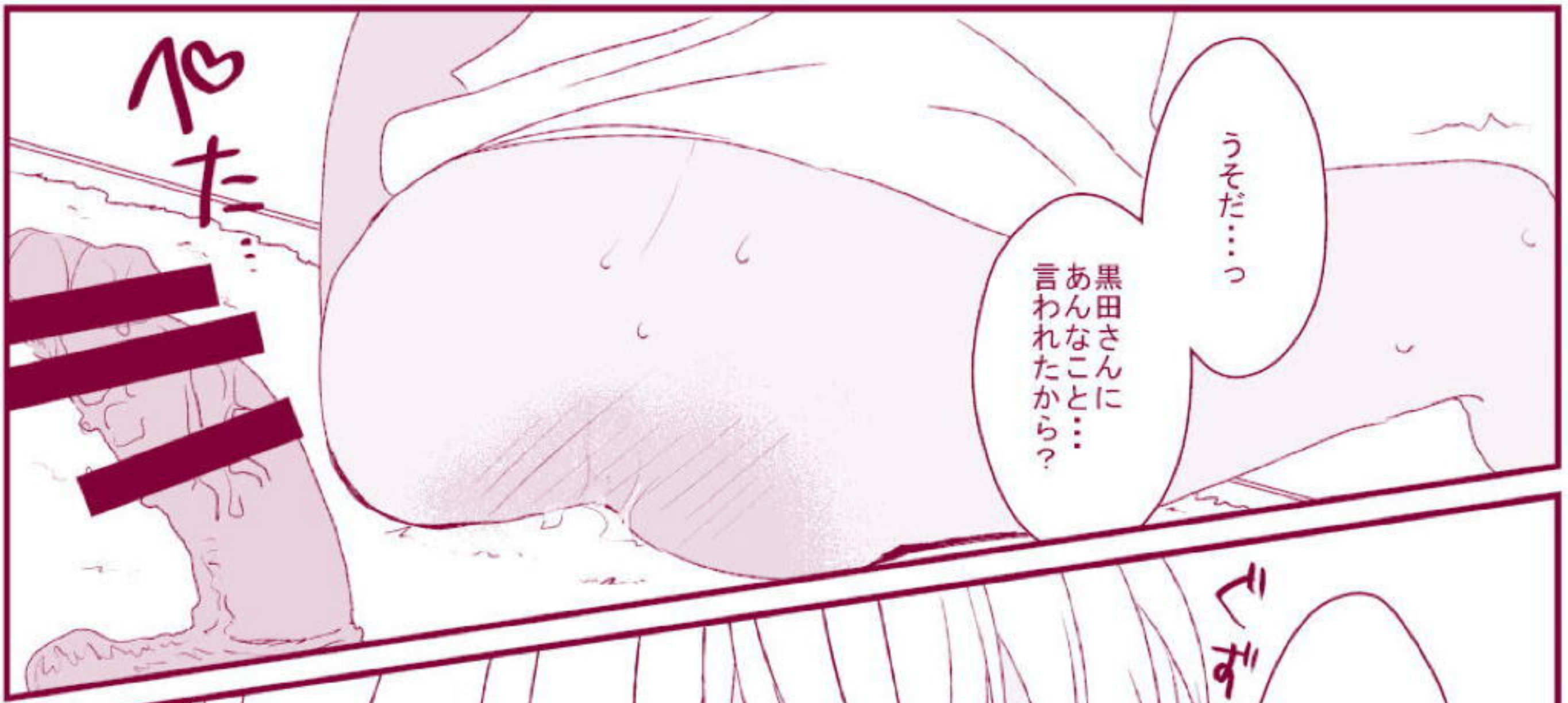
















は……だめ……っ  
イケな……っ

ぐす……

ぐす……

可愛い……っ  
う……う……っ

ぐす……



あっあ……  
可愛い……っ

4か 4か

可愛い……っ

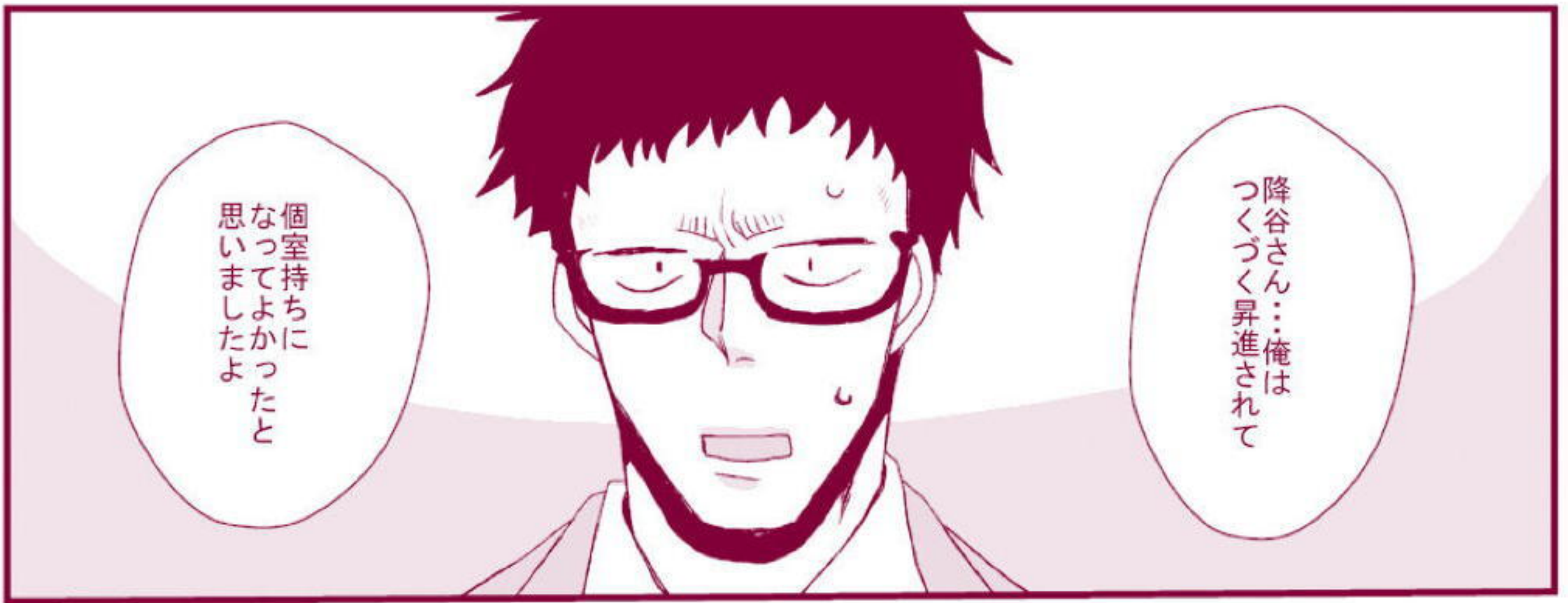


嫌がっても……っ  
奥の奥まで……  
いじめてほしい……っ



そんな相手……  
いないのに……っ





降谷さん：俺は  
つくづく昇進されて

個室持ちにな  
ってよかったと  
思いましたよ



そうか？

おおお...

貴方どうしたら  
そんな顔に  
なるんですか



降谷さん、今日は  
皆にあまり顔を  
見せないでいた  
だきたい

パートナーかあ...



なんだみ顔だ  
って顔だ

言えま  
せんよ



確かに少しがし  
熱っぽいかな...  
昨日イケなかったのが  
まさか顔に？

まさかである

むむ...









むあっ

大体、君が偉くなって  
こっちの会議にはあまり  
顔を出さなくなったし

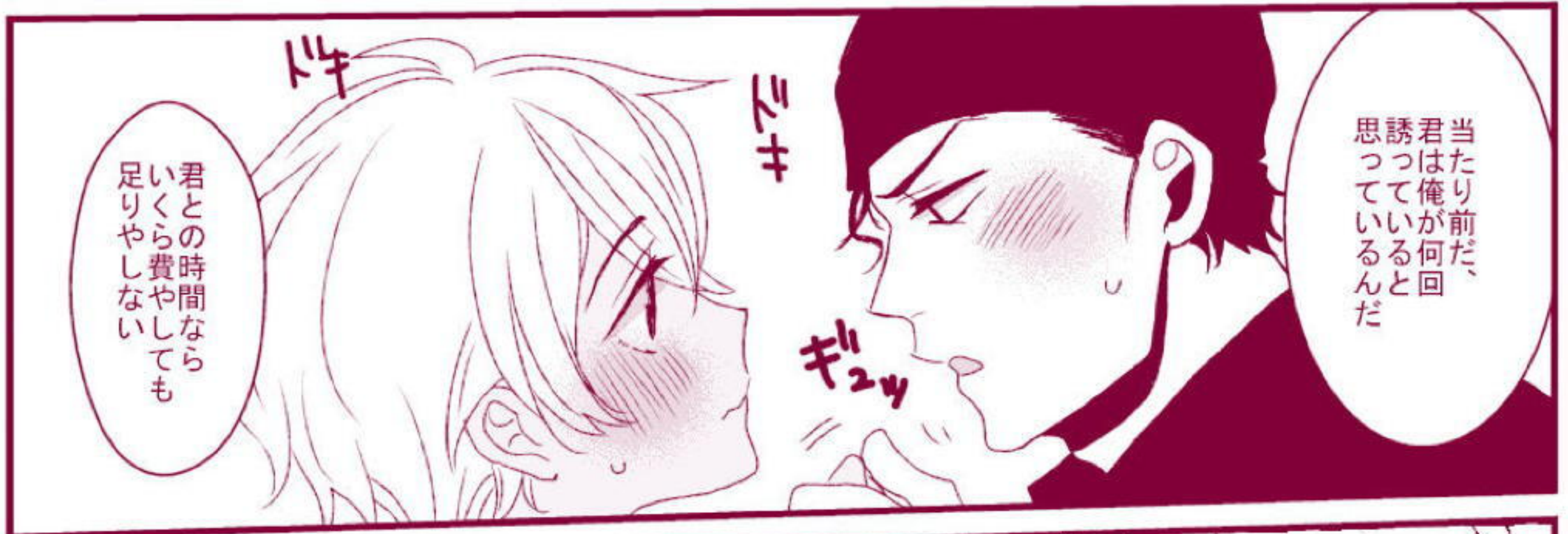
そんなに僕と  
食事に行きたいん  
です…？



降谷くん、俺と  
メシには行って  
くれないのに

ええ、  
風見と近くの  
定食屋に…

ははは  
シヤ、フシヤ  
ヤ、ヤ



当たり前だ、  
君は俺が何回  
誘っているんだ  
思っているんだ

君との時間なら  
いくら費やしても  
足りやしないも



………  
今夜なら

うわ…っ  
こいつ良い声  
すぎだろ

空いて…  
ますけど

本当か!?

キゅんっ

ううう…っ





わかった、  
予約しておく

君と久しぶりに  
食事に行けて  
嬉しいよ



君の昇進祝いに  
俺が奢るよ。

前も別荘で  
まかなったし

敷居の高い店は  
ごめんですよ、個室で  
あればいいですし



大げさですねえ

赤井は優しい  
和解した後は  
飲みに行つたが、  
距離を置いたま  
れなくなつた



それでは  
また後で

ああ  
楽しみに  
している

ヒュー



.....

30  
1130

AAA...





でもこんなの…

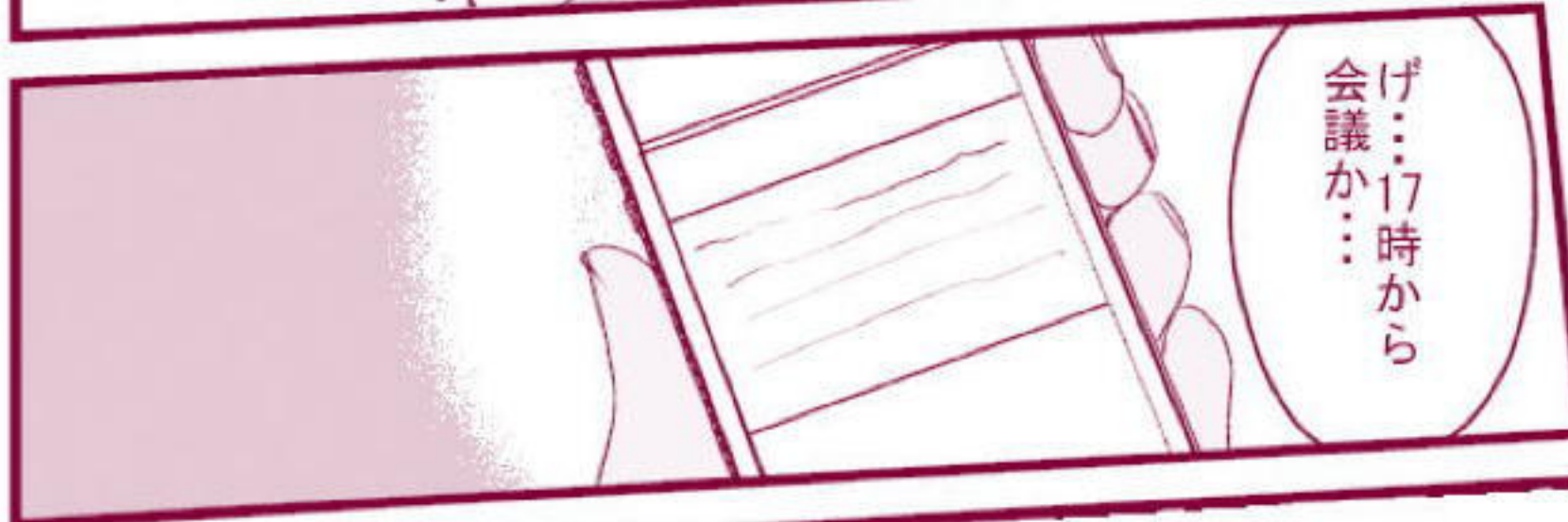
誰にも相談できないし、  
後ろいじれば前もたつから  
インポでもないしな…



しかし…赤井の声に  
下っ腹がうずくなんて…

は…

いよいよ末期だぞ…  
やっぱり昨日、  
中途半端だったのが  
いけなかったのか…



げ…17時から  
会議か…



今なら赤井、  
まだ近くにいるはず

トタタタ

今日の飲み、  
少し遅くなるの  
言っておこう



あか…

シュウも思うだろ!!  
フルヤの尻!!



あ、

いたいた







確かにライはむちやくちやな  
セックスしそうだった  
凄いSMプレイとか

でも今の赤井は  
紳士的なイメージが  
あったけど夜はすごいのか…？

てか、何で赤井の  
セックスなんか考えて…  
でも…俺を押さえつけられる  
ような人間なんて赤井くらいのもんで…

いやいやでも  
赤井だって男は  
嫌だろう？

でももし嫌じゃ  
なかったら…？  
穴なら何でも  
良いとか…

俺は優しく  
されるのが  
いたたまれなかつた  
だけで…  
酷くされるなら…。

よし

今夜、赤井を  
酔わせて聞いてみよう

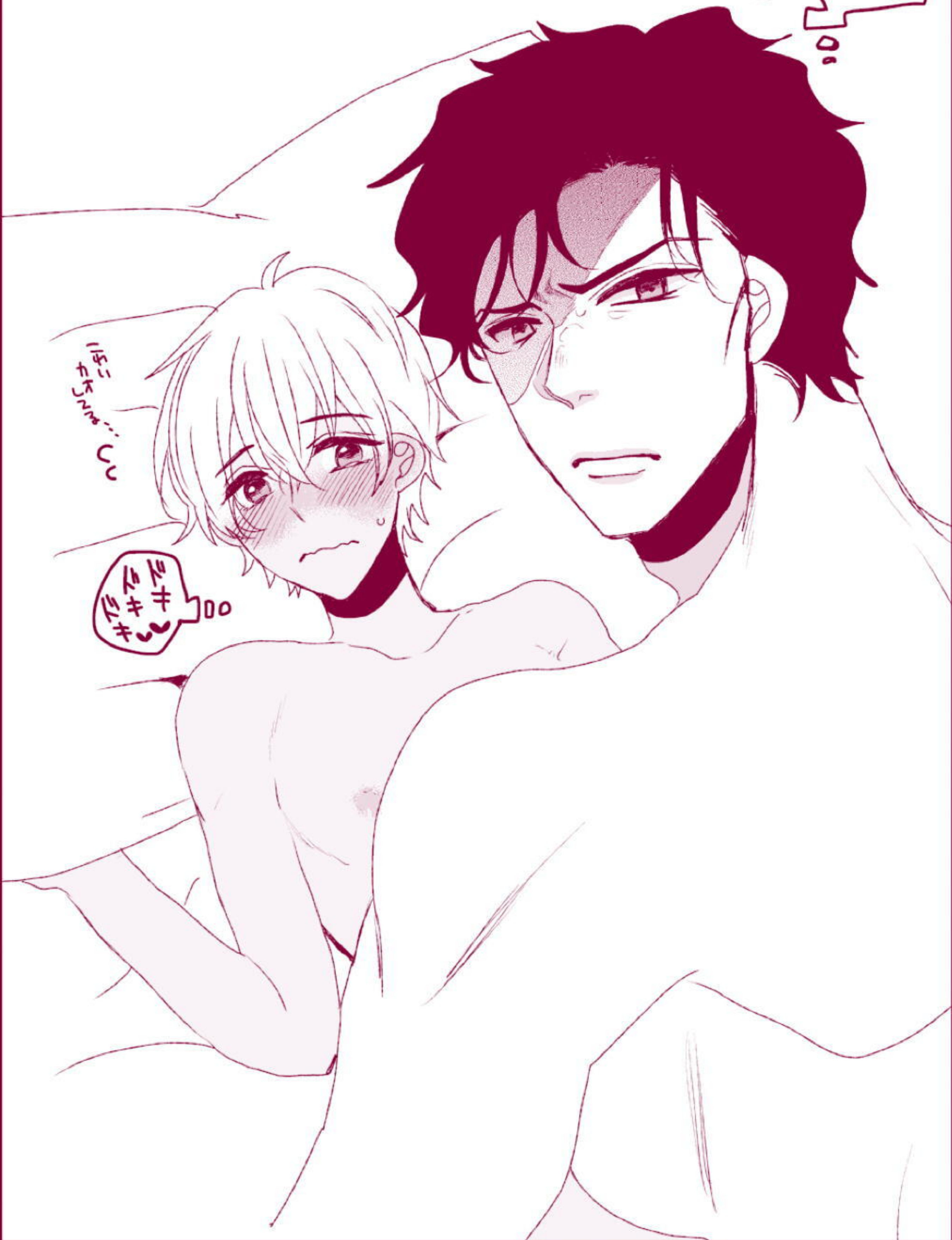


Episode. 02  
新たな関係

母はいい  
おっさん  
おっさん

おっさん...  
おっさん

おっさん  
おっさん  
おっさん



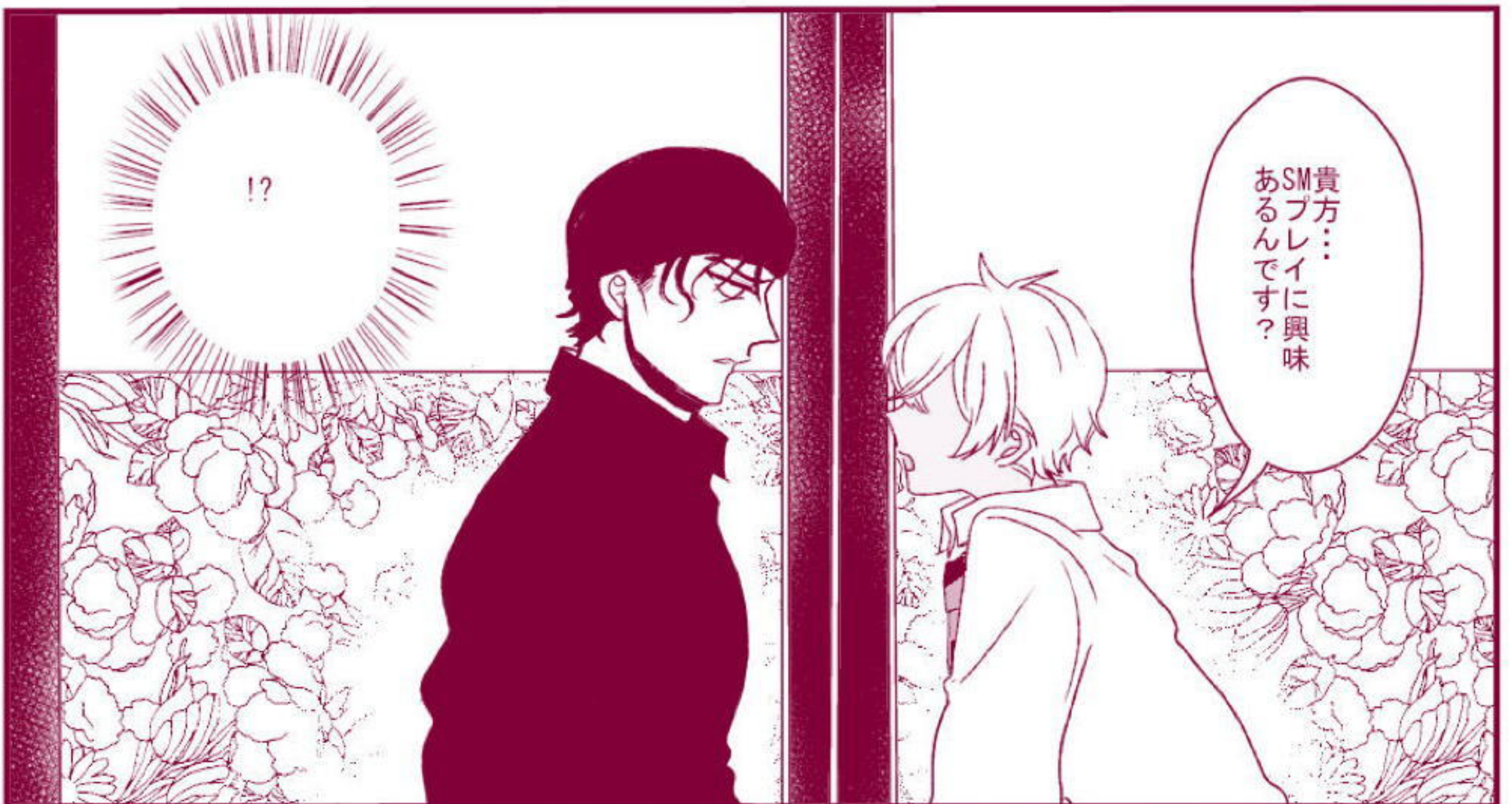














これは…相当酔っているな…

まさか降谷君の口から猥談が飛び出すとは

じい

しかし降谷くんはこんなにかわいい顔を  
していても、人の上に立つ人間だからな…SMプレイが好きでもおかしくはない…

俺もどちらかと言うとソフトSを好む方だ  
誰かからその話を聞いたんだろう

むっす

心の狭い男

だがしかし、それを降谷くんの口からは聞きたくなかった

さうなんてもう相性最悪じゃないか

降谷くんは俺と猥談をしたいらしいが、君が好きだ

君から今まで抱いてきた数多の女の子の話なんて聞きたくない。彼は異性愛者だから、つけない隙はないかも、しれないと思うてはいても、気分の良いものじゃないんだ

俺は恋人には優しくしたい性質でね、君は違う…





ハッ

のか…



か

う…あ…  
そう…ですね…

僕もそう思います…  
あは…じよ、冗談ですよ  
あかい…



今の、嘘じゃないだろ  
君は本当に  
女性をいじめるのが  
好きなのか？

あ…っ



なんだ、その顔は…  
君らしくないだろう

下手な演技をして…

クワッ

クワッ



多分…赤井、  
けいべつします…っ





軽蔑しないさ、  
君はどんな風に  
するんだ？

聞きたくないと、君が  
はねつけたのに、  
こんないじめたくなるような、  
かわい顔をするから



酒の席だ、  
何を言っても  
問題ないさ

君の口から、  
恥ずかしい  
言葉を



嫌がっても  
押さえつけられて...  
身体は鍛えてますし...  
...少し酷く  
されても大丈夫ですから...っ

いじわるされたいです...っ

少し...

もじ...

かかか...

かかか...



目の前が興奮で  
真っ赤になる

うっむく  
つむじがかわいくて

降谷くん  
の口から、  
こんな言葉  
が聞ける  
なんて……

その役は……  
俺がやってもいいのだろうか……

……





ただ俺は酷くしたい  
ばかりじゃなくて…  
頑張った後に  
よくやったとほめて  
やりたいんだが

だめだろうか？

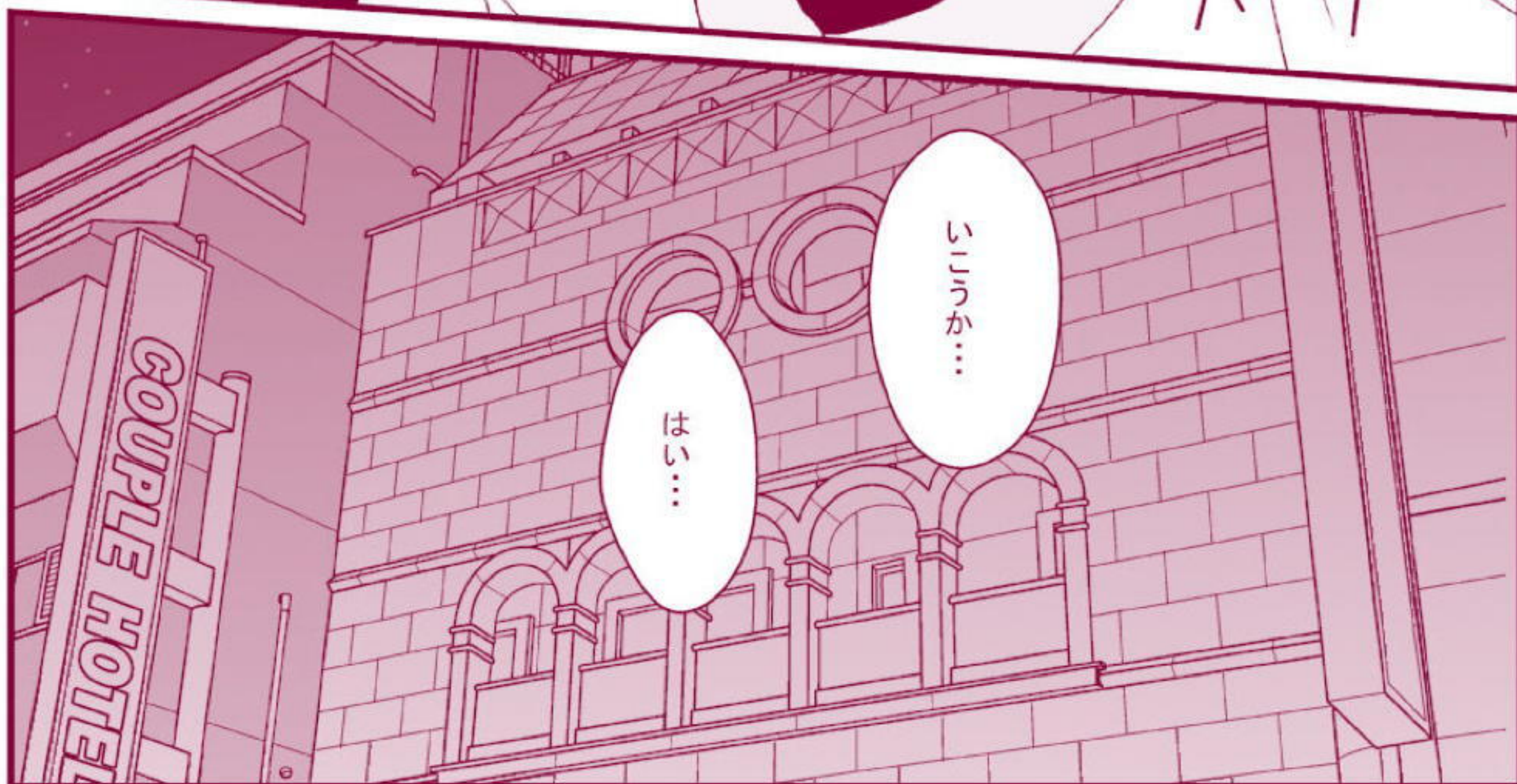


だめじゃないです…っ

お姉さん…

ドキ

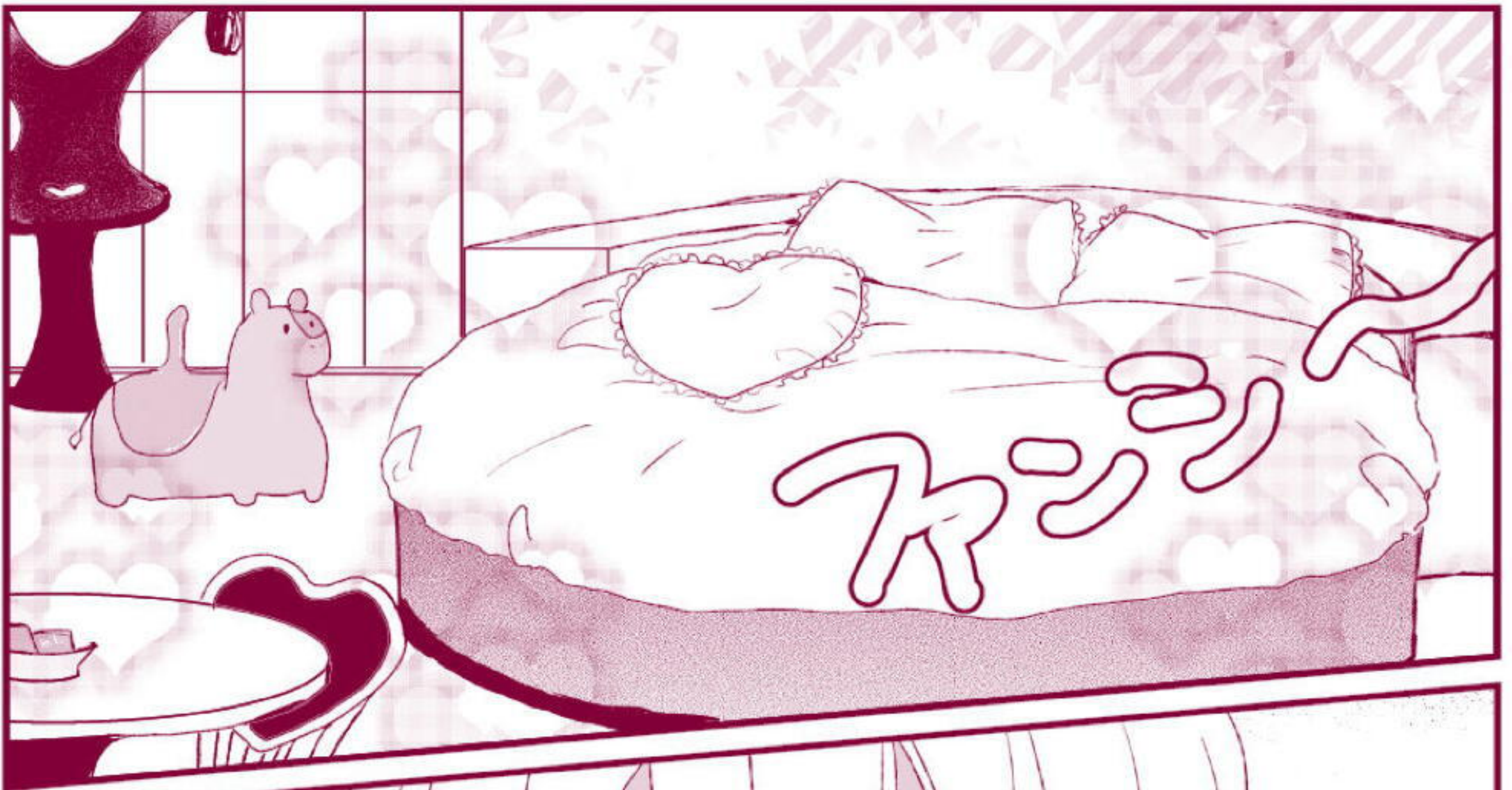
ドキ



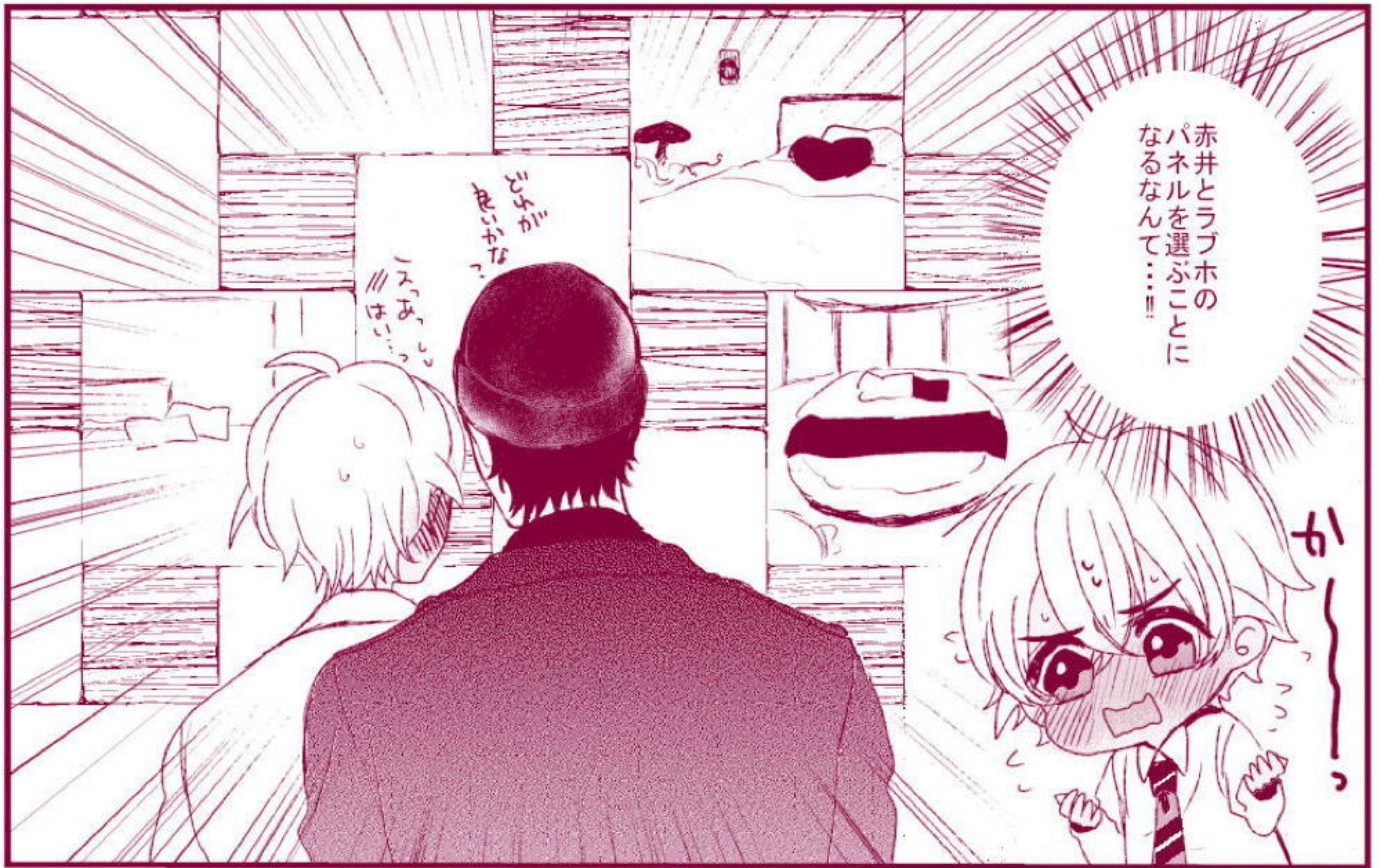
いじつか…

はい…









赤井とラブホの  
パネルを選ぶことに  
なるなんて……!!

か〜



調べたからな。  
SM部屋だこの少し  
可愛らしい部屋になるが、  
君はどれがいい？  
好みのプレイはあるか？



迷いなくここに  
入りましたけど……  
男同士で入れるって  
知ってたんですか？

ラブホ自体が  
組織のあれこれ  
入った以外入店し  
ことがないんだ  
けど……

トリキ  
トリキ  
トリキ

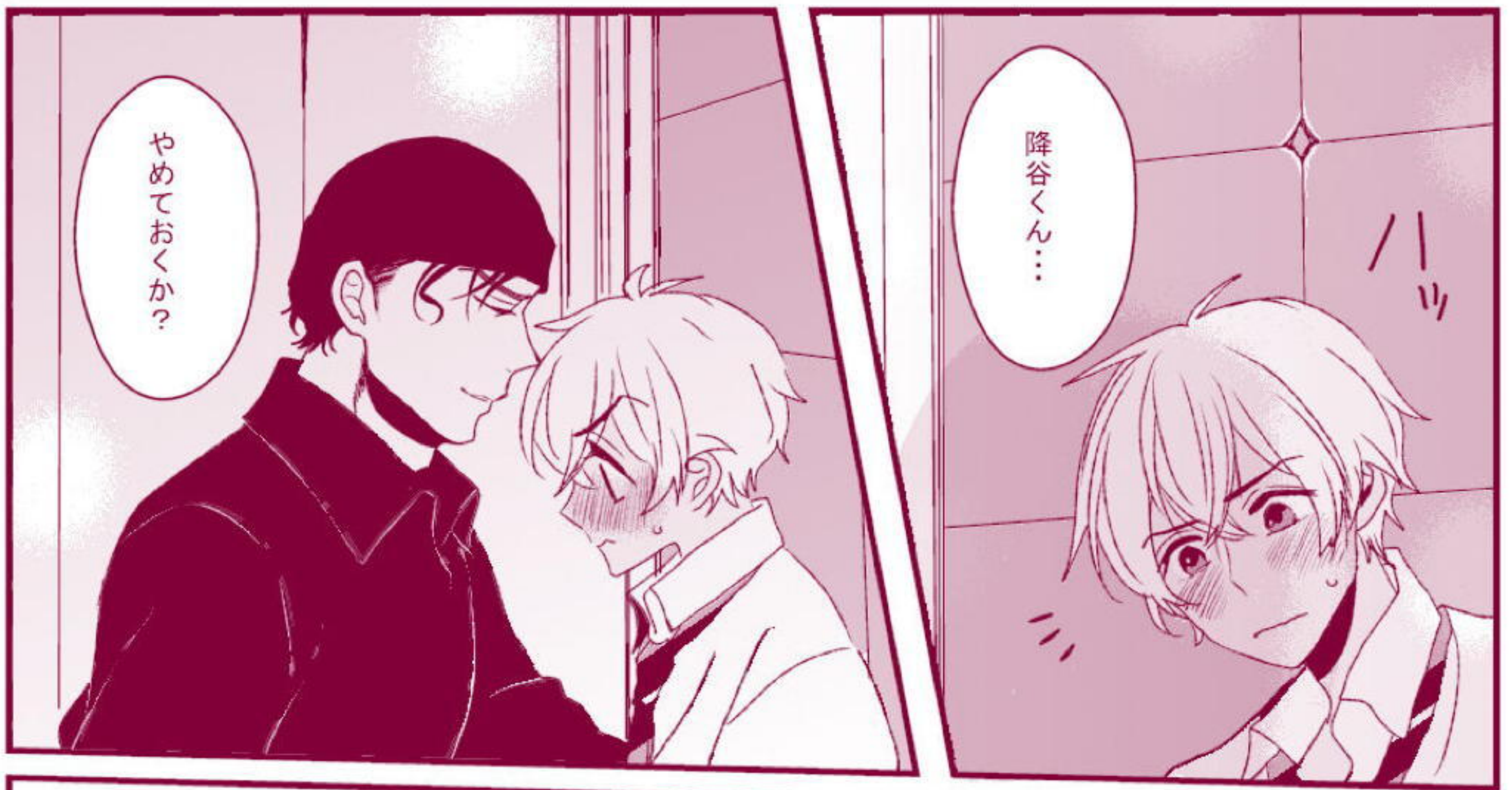


な……ッ

慣れてるな  
そうだよな  
赤井だもんな

ぽぽぽ  
ぽぽぽ



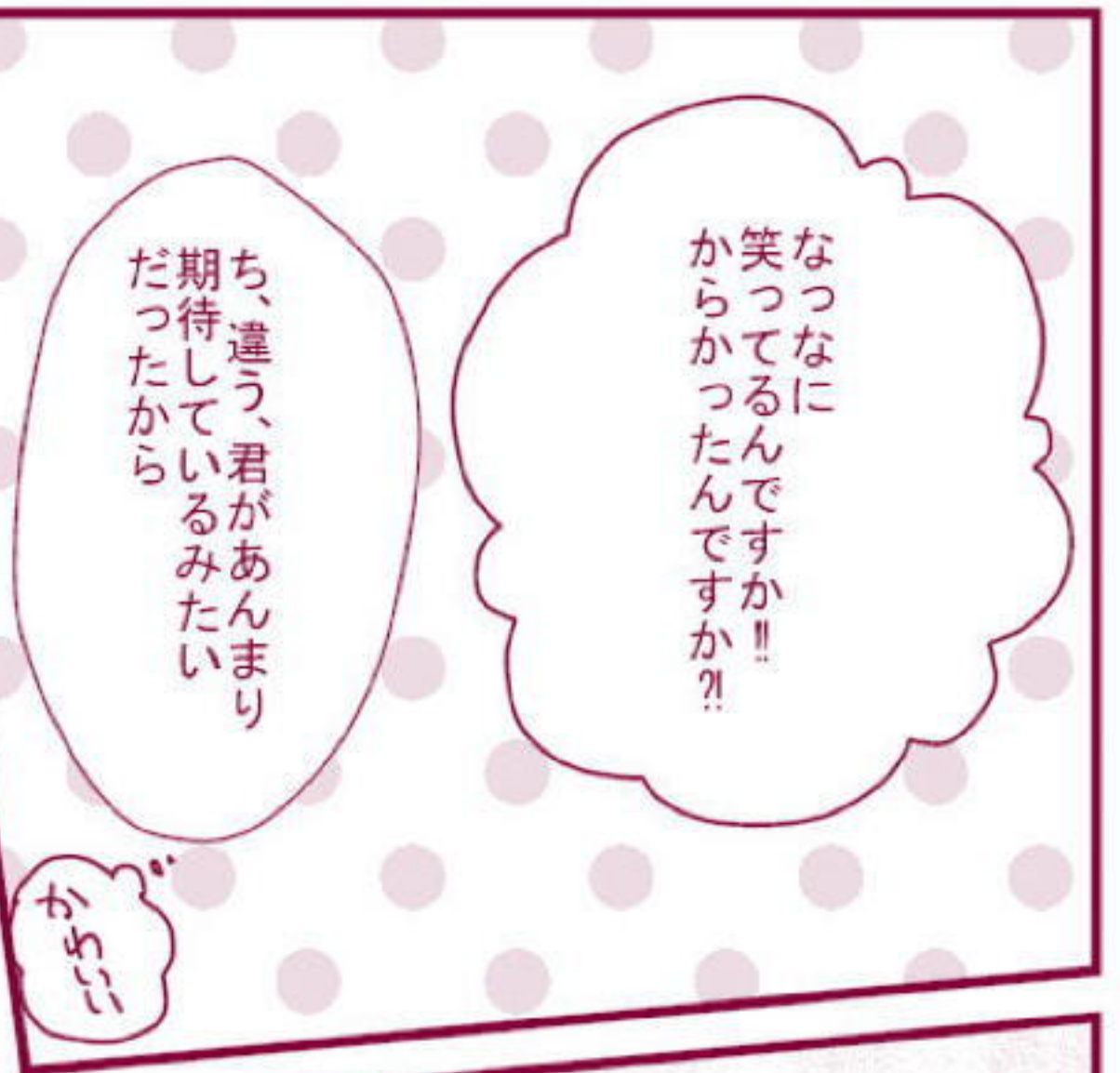






いやなに酔いながら  
醒めて冷静になったら

やはり思い直した  
のかと思ってな



なつなに  
笑ってるんですか!!  
からかったんですか?!

ち、違う、君があんまり  
期待しているみたい  
だったから

んんん



良かったよ、  
俺としては  
役得だしな

さすが女性を  
千人抱いた  
ような顔をして  
いるだけあるな!!



それで  
降谷くん

キスはしても  
良いのか

えっあっ  
赤井が嫌じゃな...



きゃ?!

キョッ





あむ…っ

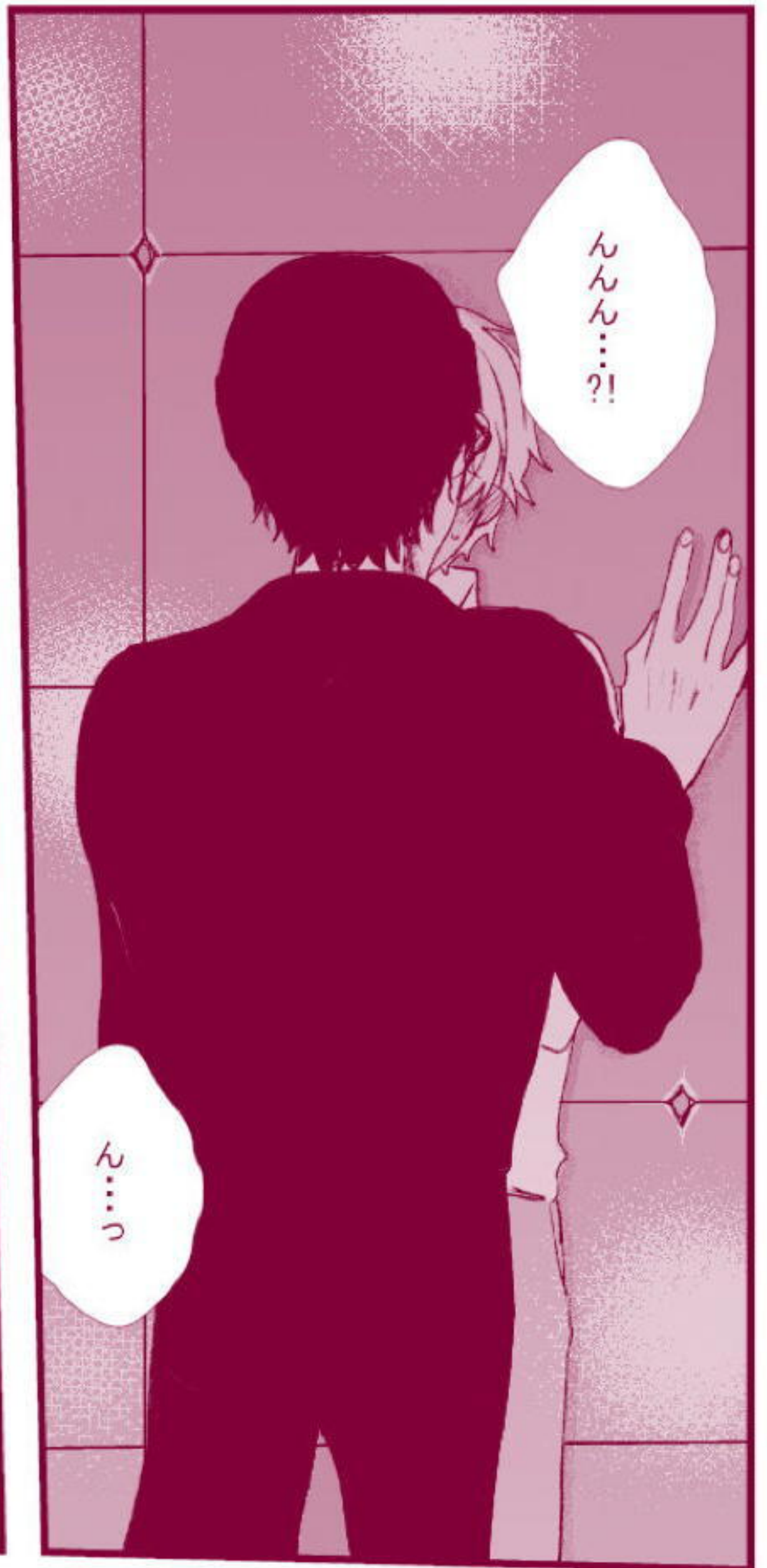


こーら  
降谷くん

か  
〜っ

〜っ  
〜っ

口を開けて



んん…?!

ん…っ



あ…はあ…  
あうう…ッ

あ…はあ…  
あうう…ッ  
あがいの…  
キスえげつ  
な…



あ…はあ…





良い顔に  
なってきたな

降谷くん

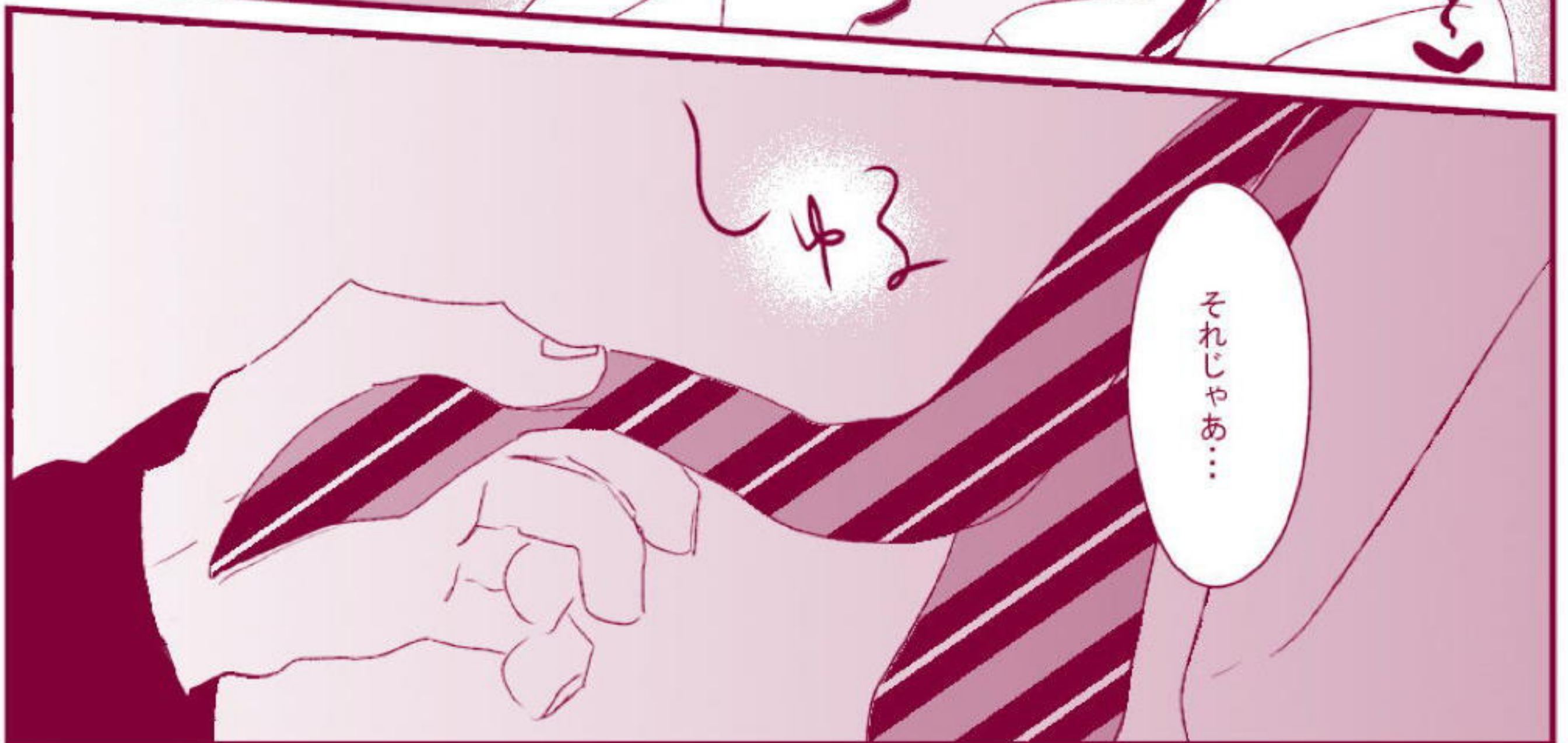


うん...



あかいに...っ  
あの赤井と俺...っ

お...お...  
た...た...



それじゃあ...









え...!!

君はまじめな顔を  
して、遊んでる  
からな



あかい  
なんか怒ってる

俺が一人で  
お尻いじって  
たから!!



どうしよう...  
あの赤井に...ッ

恥ずかしい...  
お尻の穴...  
見られちゃった...ッ

すぐにご褒美が  
もらえるよ  
と思うなよ

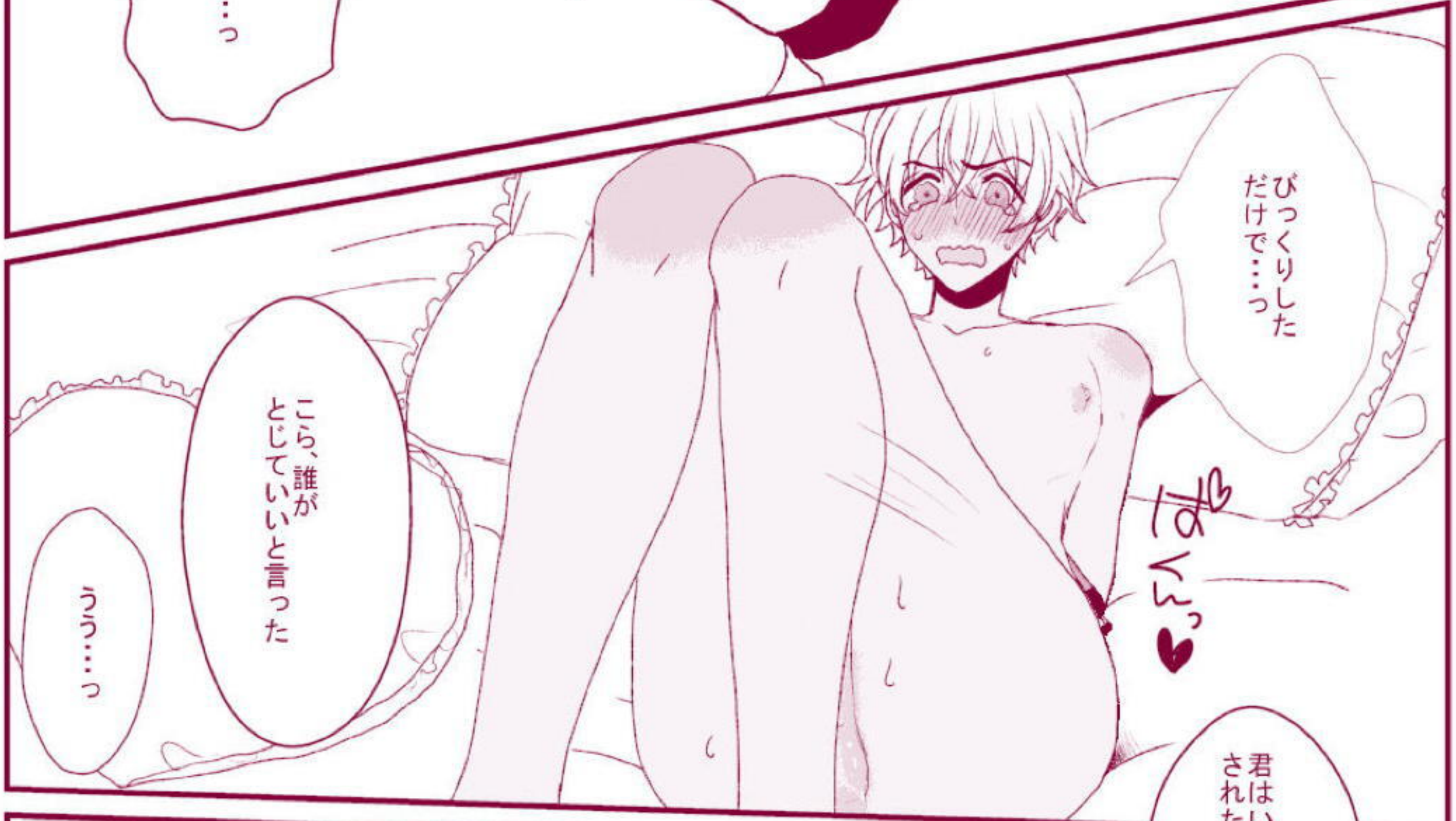






君は見られるのが  
好きなんだなあ

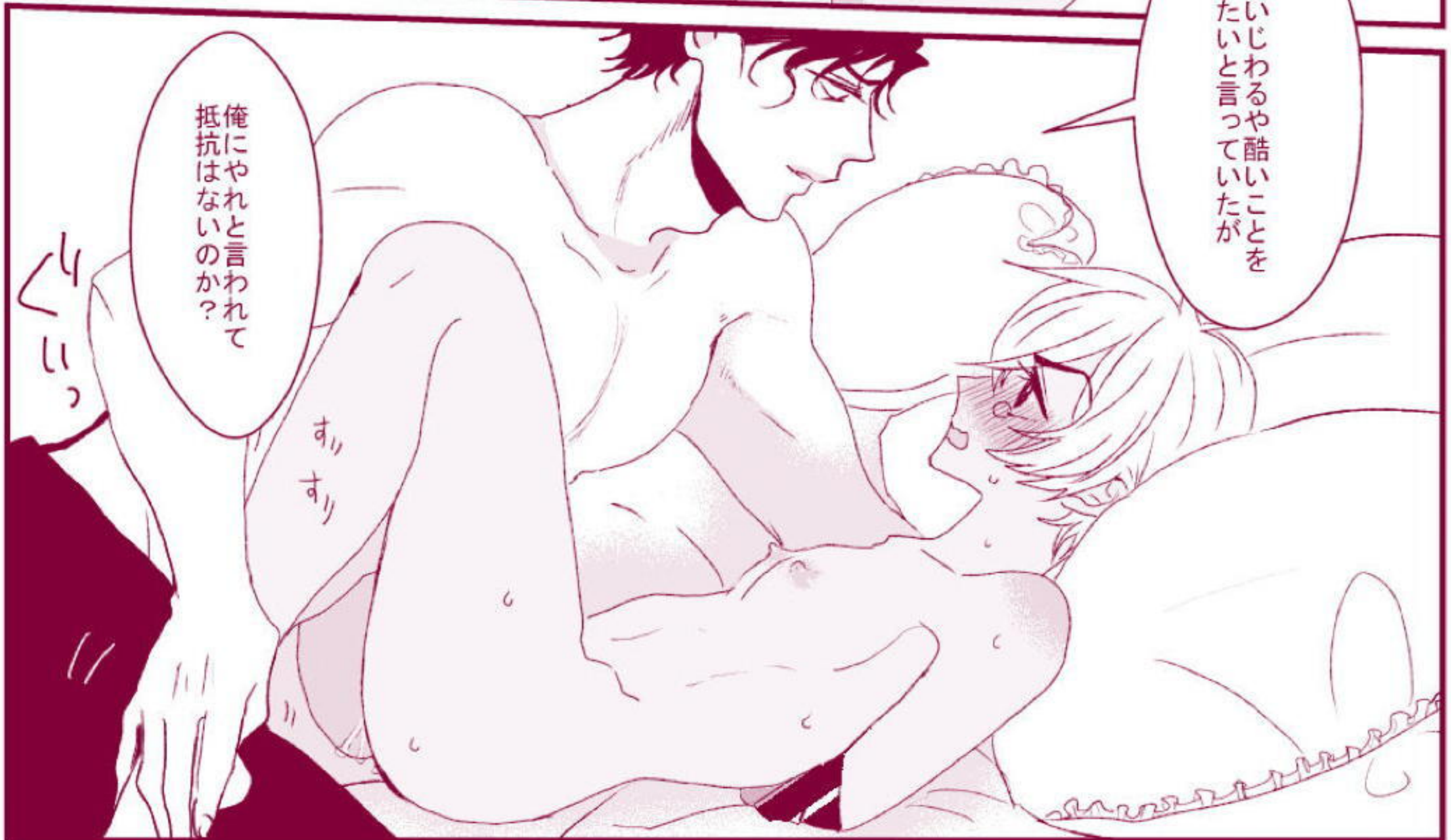
え……ちが……っ



びっくりした  
だけで……っ

「さ、誰が  
とじていいと言った

ぐっぐっ



君はいじわるや酷いことを  
されたいと言っていたが

俺にやれと言われて  
抵抗はないのか?

あり  
あり

ぐっぐっ





も、申し訳ない…  
気持ちとか…

恥ずかしいというか…  
あ…あかいが  
気持ち悪く  
ないかとか…っ



あっ?!



あ…っ赤井  
なに…っ

薄桃色の  
かわいらしい  
ココも



使い込まれて  
いないキレイな  
これも…

ひ…んっ…



たてにわれた  
セクシーなココも

あ…っ♥



全てが  
かわいいと  
思うよ





あの…っ



~~~~~



俺…ずっと、こんなこと、  
されたくて…っでも…っ  
こんな仕事だから…っ  
相手もいなくて…っ



一人でお尻いじっても  
イキそうになったら怖くて  
できなくて…っ

うまくできないかも  
しれないけど…っ  
あなたの好きに  
してくれませんか…っ

~~~~~  
~~~~~





弄って、  
こんな尻に…?!

一人で…



一人で健気に…  
慰めてきたんだな…

君は優秀だから…  
叱られることも、  
褒められることも  
少なくとも…

めちやくちやに、  
さされたのには、  
理性を預けられる  
相手もない…

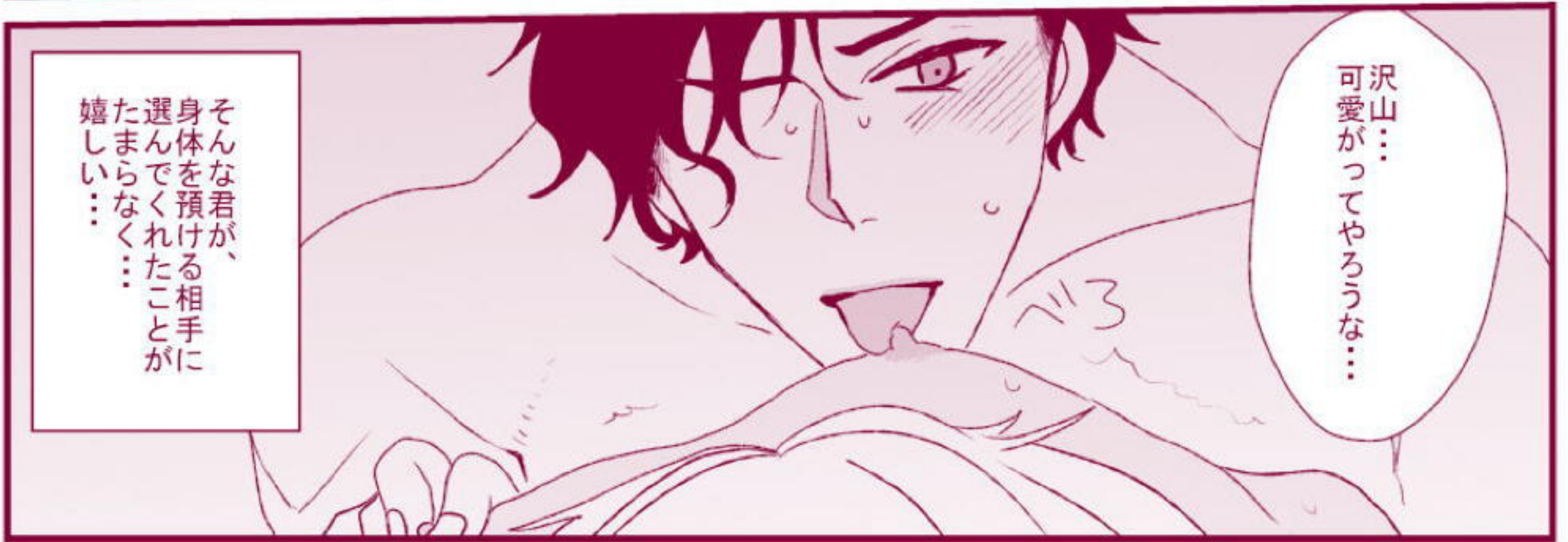
んあ……っ

あ……♡

あ……あ……

カリッ

ひくっ、  
ひくっ



そんな君が、  
身体を預ける相手に  
選んでくれたことが  
嬉しい…

沢山…  
可愛がってやろうな…

ハッ









やっぱりこっちが好きかな？  
声が甘くなつたな

かっ  
4  
り

ん？ん？ん？ん？

ぐぐぐぐぐぐぐぐ



ん？ん？ん？ん？

かっ  
4  
り



あの降谷くんが、俺の手でこんな乱れるとは...



しかし、こんな縦に割れるほど君は尻の穴を弄っていたのか？

ねと...

ん？ん？ん？



ぬぬぬ...

かわいい



かあああああああ

ん？ん？ん？

ん？ん？ん？ん？

ごめんなさい...







組織を壊滅する前には  
彼のことを愛おしく思っていたし、  
失いたくない存在だと思っていたし、

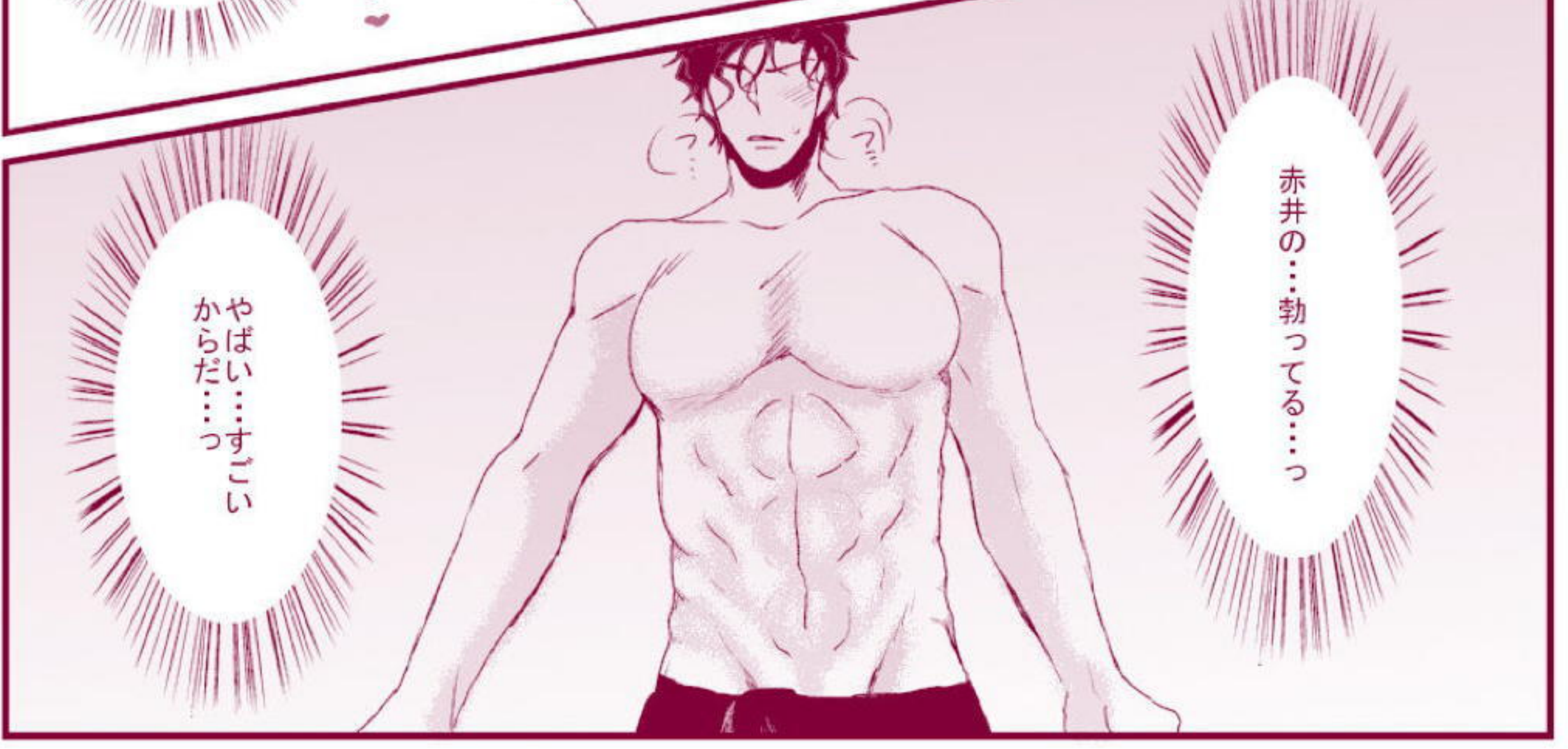
やっと時間ができたんだ、  
残留組にしてみたら、  
降谷くんはアプローチしていたが、  
一行に相手にされなかったのに、



ずっと手に入らないと、  
絶望していた彼のこんな  
姿を見られて











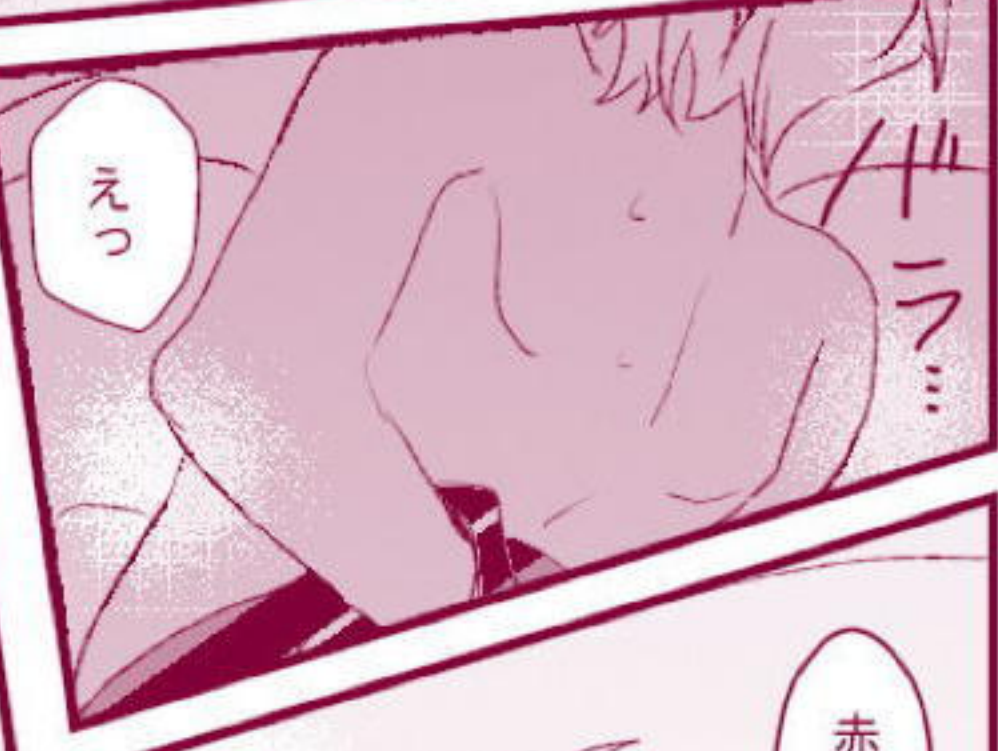
とうとう...  
入れられて...  
しまうのか...  
赤井の...  
服の上からでも  
おつきい...

降谷くん



ほしいか?

.....  
くっ



えっ



赤井?



すごい、  
物欲しそうな  
顔をしている





いいか降谷くん、  
これは君の初めてだ  
そう気安く

俺のような男が  
奪っていいのか



けいけんち  
⊘

い...いじわるですね...

い...っ言えるわけ  
ないだろ...!?



SMプレイをすると  
言っても、俺が一方的に  
君に強いるだけじゃない



あくまで君に  
主導権がある、  
君はどうしたい...?

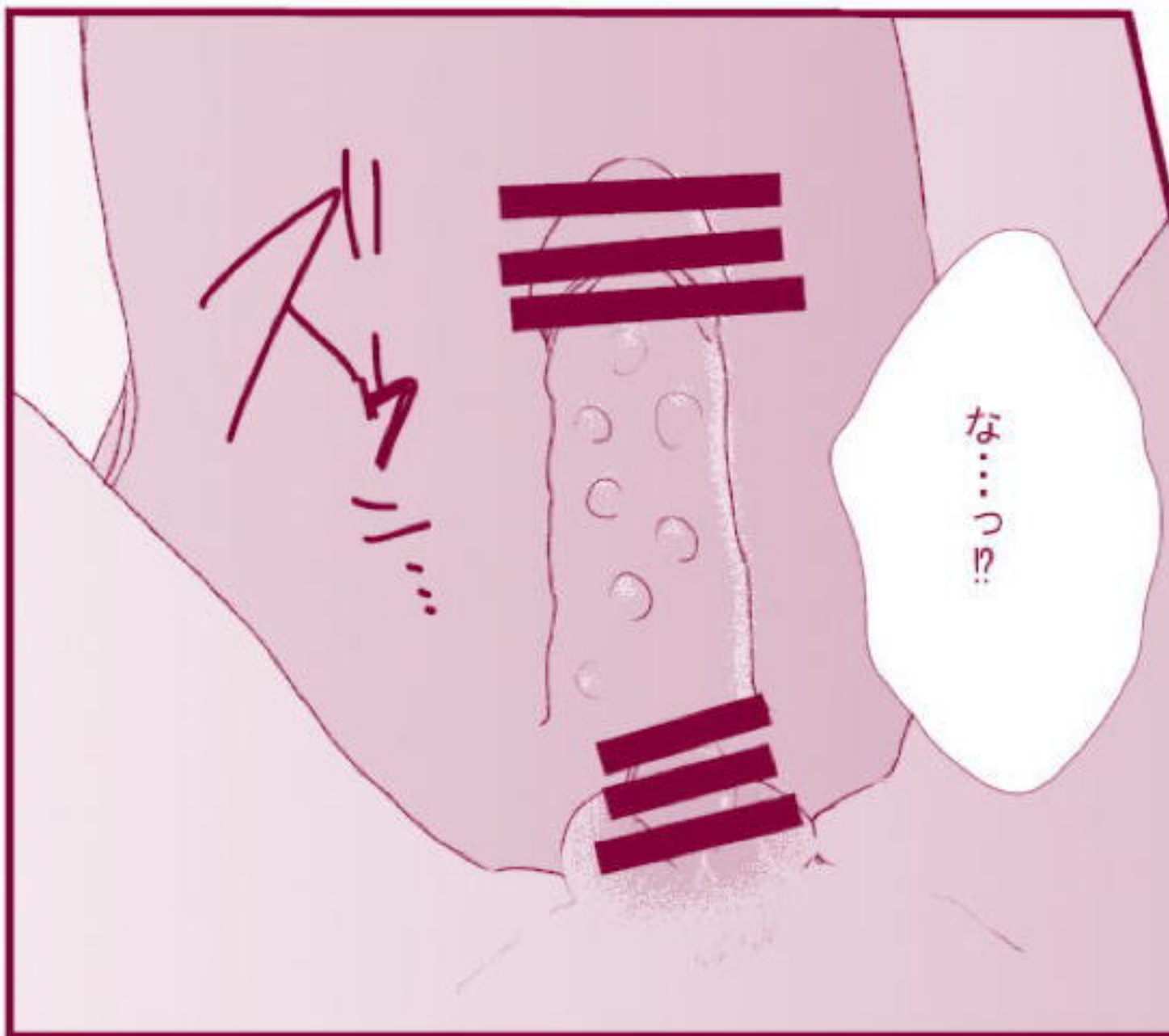
どうして...



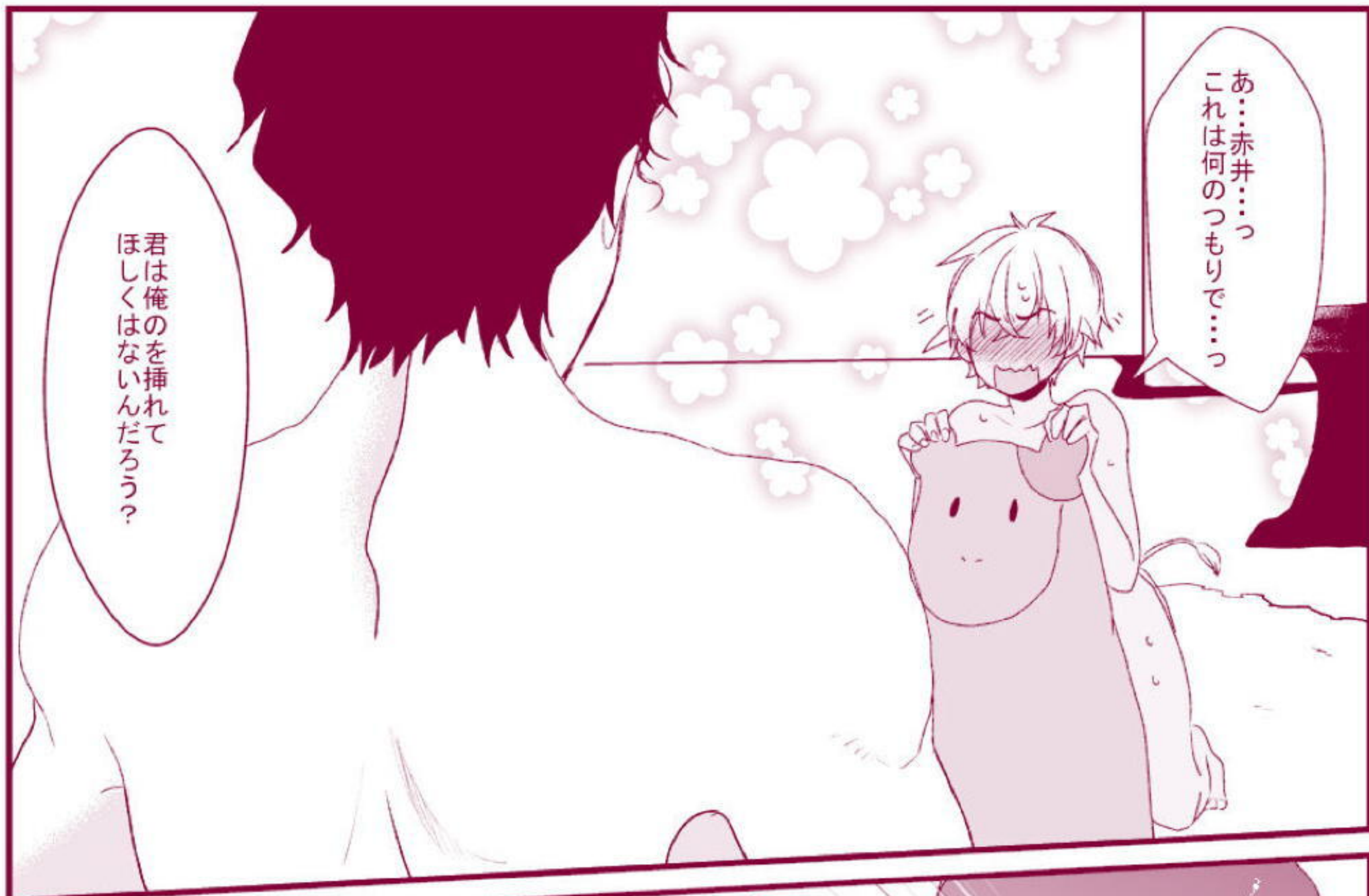
わかった

えっ









あ…赤井…っ  
これは何のつもりで…っ

君は俺のを挿れて  
ほしくはないんだらう？



だが、尻を  
つかうことは  
好きなようだ

あ…あかいの…  
でかい…っ♡

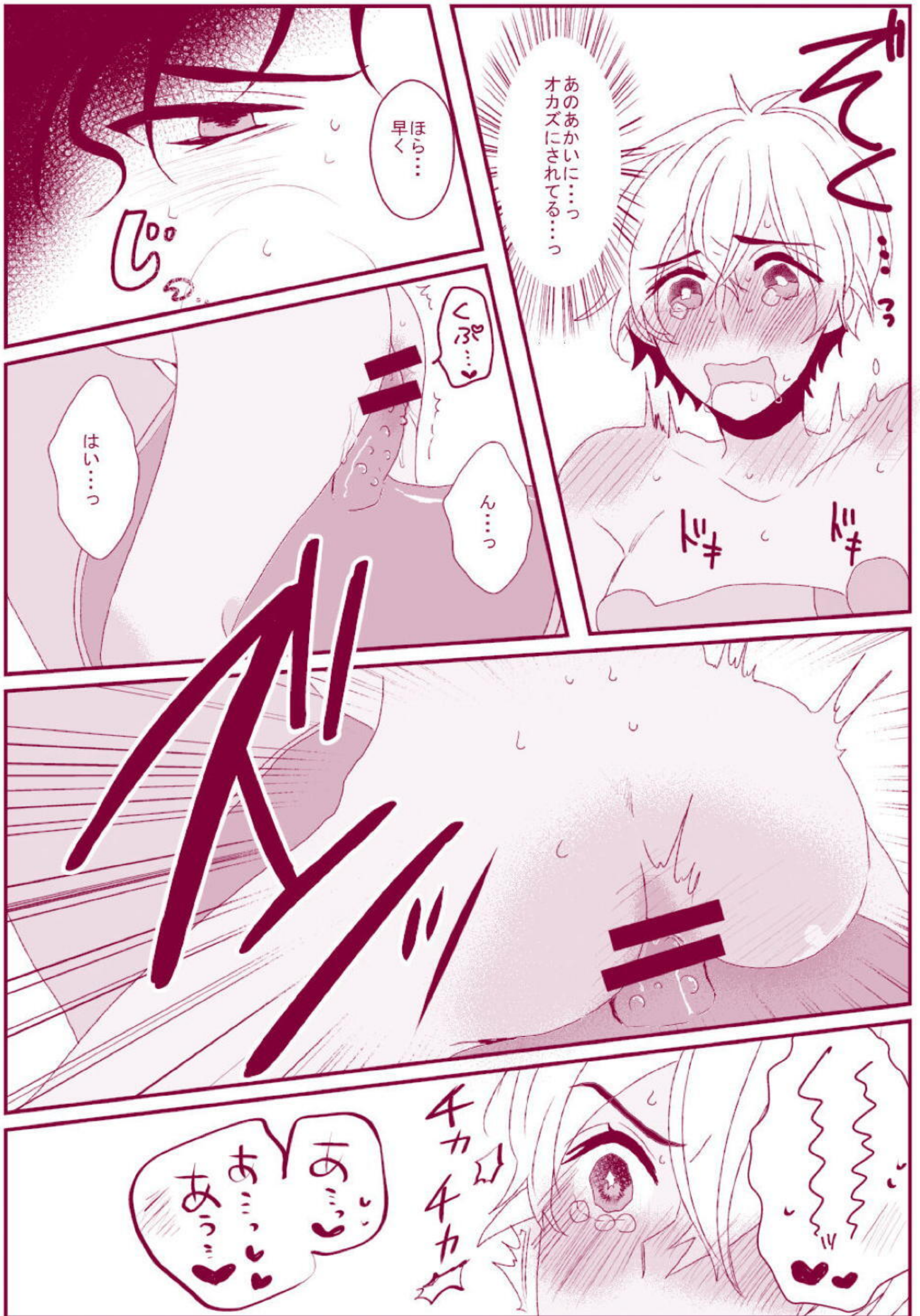


見てあげるから、  
上手に自分で  
入れてごらん

俺も限界だから、  
抜かせては  
もらうがな

?!





あのあかいに……っ  
オカズにされてる……っ

ほら……  
早く……

く……っ

ん……っ

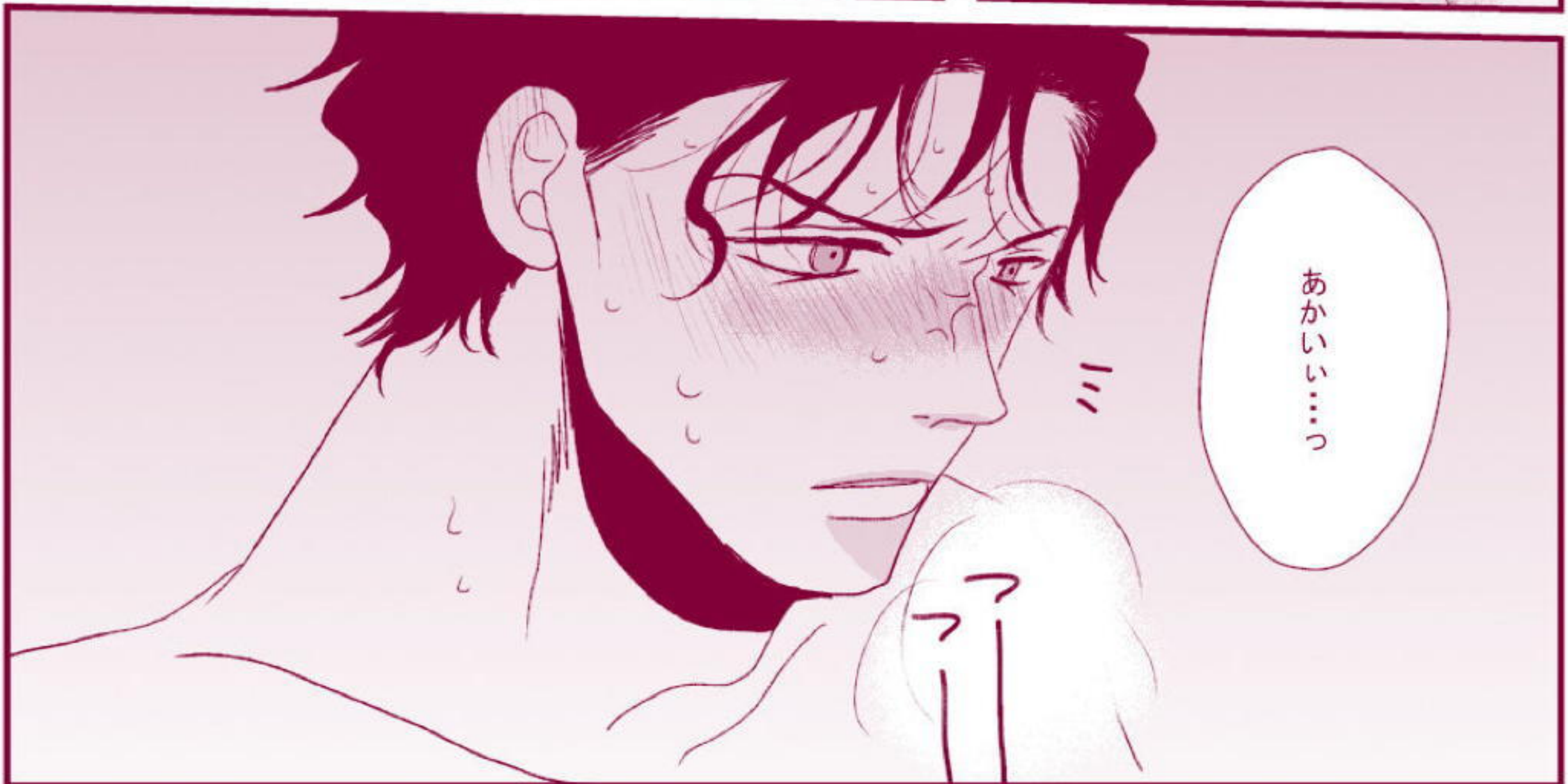
ほら……っ

あ……っ  
あ……っ  
あ……っ


カカカカカカ

あ……っ  
あ……っ  
あ……っ










あかいの……っ  
そとにだすなよお……っ


なれいの……っ  
なかにだして……っ

はは



君が……っ  
言ったんだ……っ

やめろと  
言っても……



やめて  
やれないからな……





そう…  
じぶんで  
ひろげて…



君を  
前にすると

とても30の男を  
相手にしているとは  
思えないな…



は…

あ…



ん…

ん…

ん…  
ん…  
ん…



ん…

ん…  
ん…  
ん…









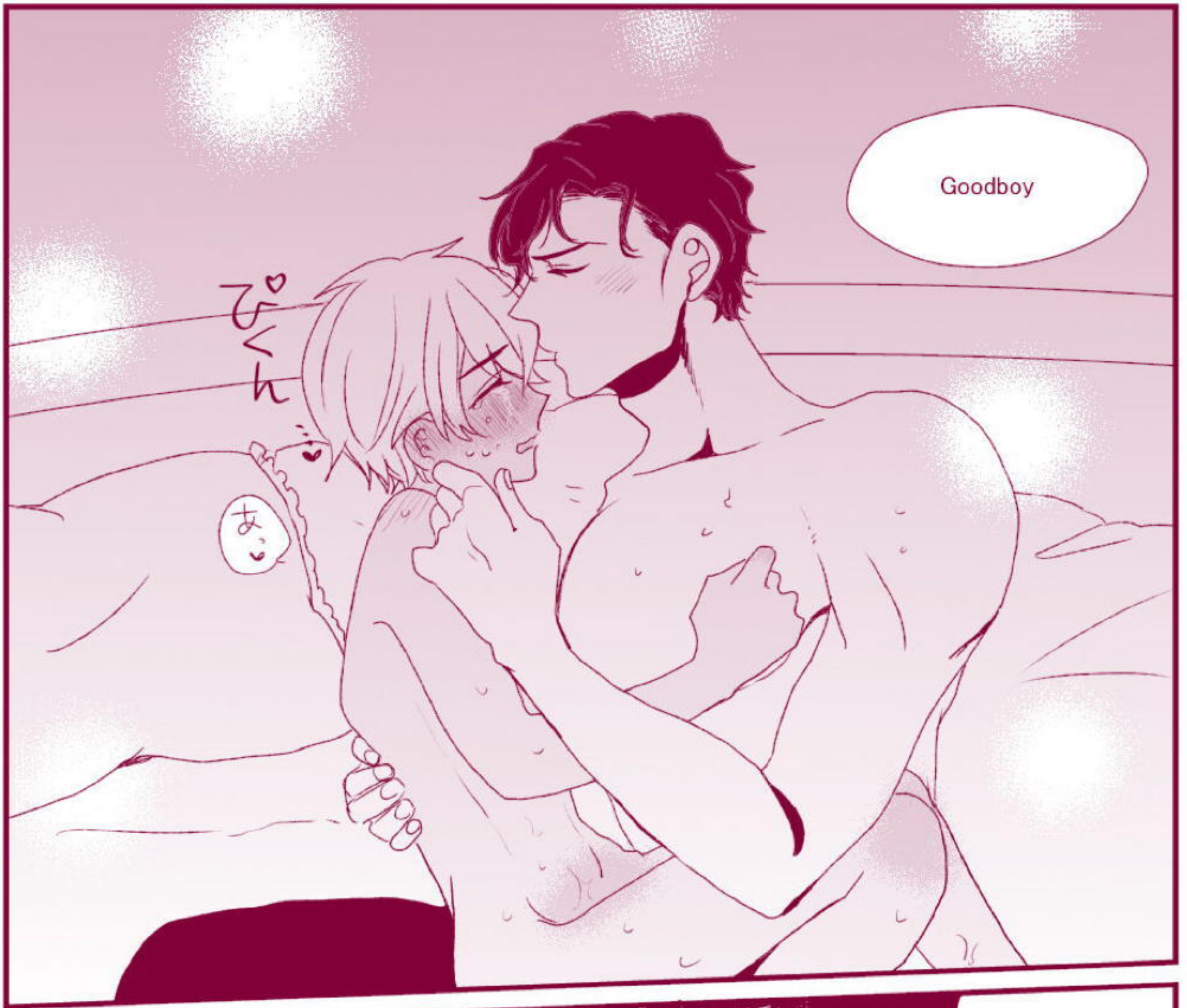
















赤井に撫でられるのが...  
こんなに...

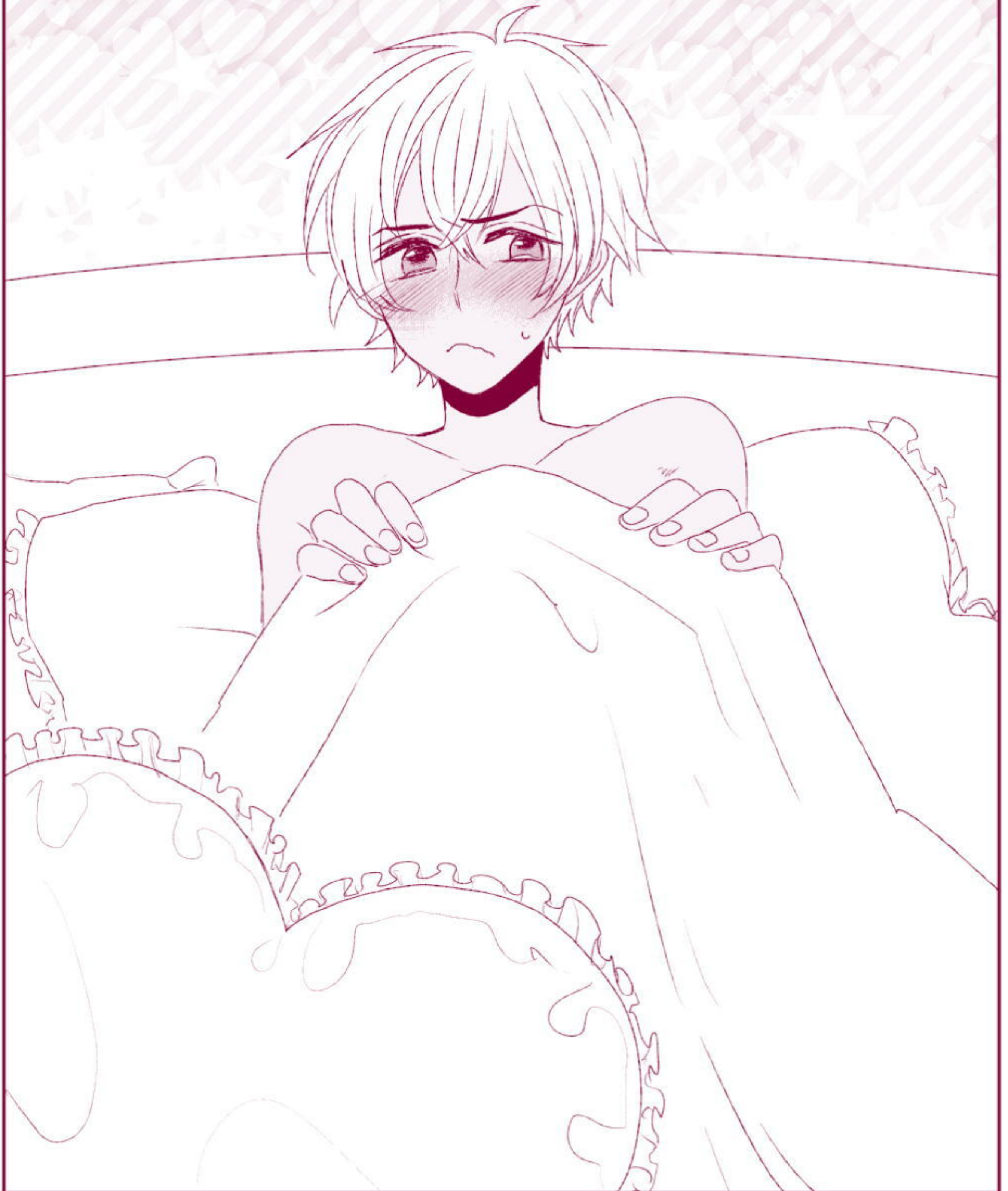
うそだろ...

嬉しいなんて...





Episode. 03  
責任の所在















毎週金曜日、  
赤井とホテルに  
行っではプレイに  
勤しんでいる

すっ  
あ  
あ



赤井のセックスは  
本当にえげつなくて



すっかり金曜日の  
逢瀬にハマりこんで...

降谷



すごくすごく、  
大切に抱いてくれて  
いるのがわかって...俺は...

でも.....

よんがんぱったん

キゅん  
キゅん



あ、申し訳  
ありません黒田さん

報告は終わったから  
かまわんが…

珍しいな、  
お前が、上の空とは

弛んで  
おりました  
申し訳ございません

なに、長い期間の  
潜入だったんだ、  
綻びが出ない方が  
おかしい、  
仕事はしっかり  
こなして  
いるようだが…

はあ…

むっ…

あの…

じっ

降谷…  
お前…

黒田さん？

グ  
ァ  
ッ





.....

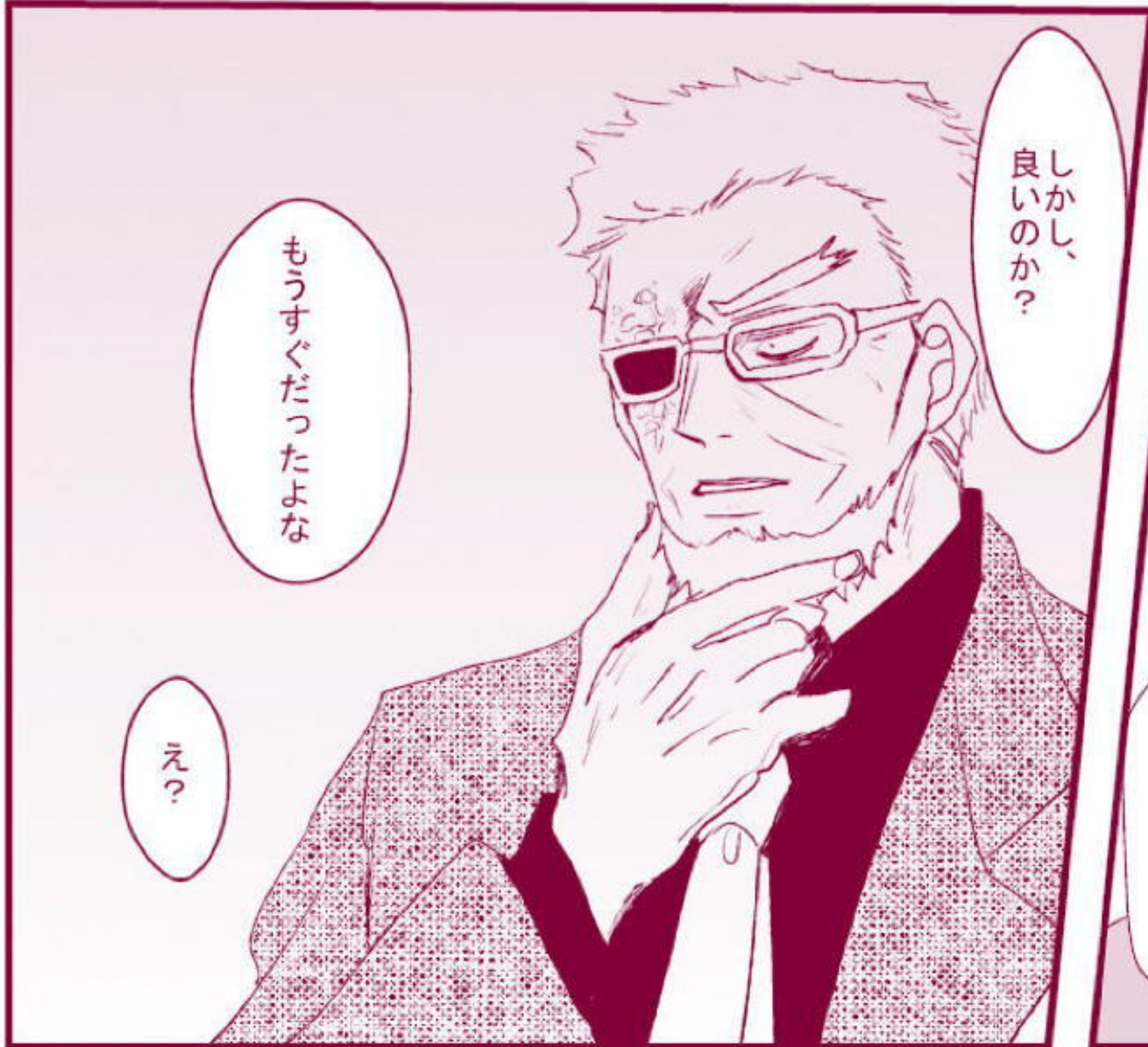
どうされました？



う…あ、はい…  
しかし、報告できる  
ような関係では…

か〜っ  
なぜなに

良いパーティーが  
できたんだな



もうすぐだったよな

しかし、  
良いのか？

え？



か…か…  
なぜ、黒田さんには  
バレるんだ…



あのFBIの男…  
本国に戻るん  
だろう？



えらいな、

ちゃんと今日も



さあ、零…

カギを外して  
やろう







あの清楚感のある  
グレーのスーツの下で…  
こんな破廉恥なものを着て…

…っ

もい…



君の部下が  
知ったら  
驚くだろうな

この俺に…君が  
射精管理を  
されているなんて

とく…

ナノオ



ホラ…

でも…

いけないな…  
こんなに貞操帯を  
ぬらして…



少し  
お仕置き  
だな、  
れーい

…っ

びっ  
びっ

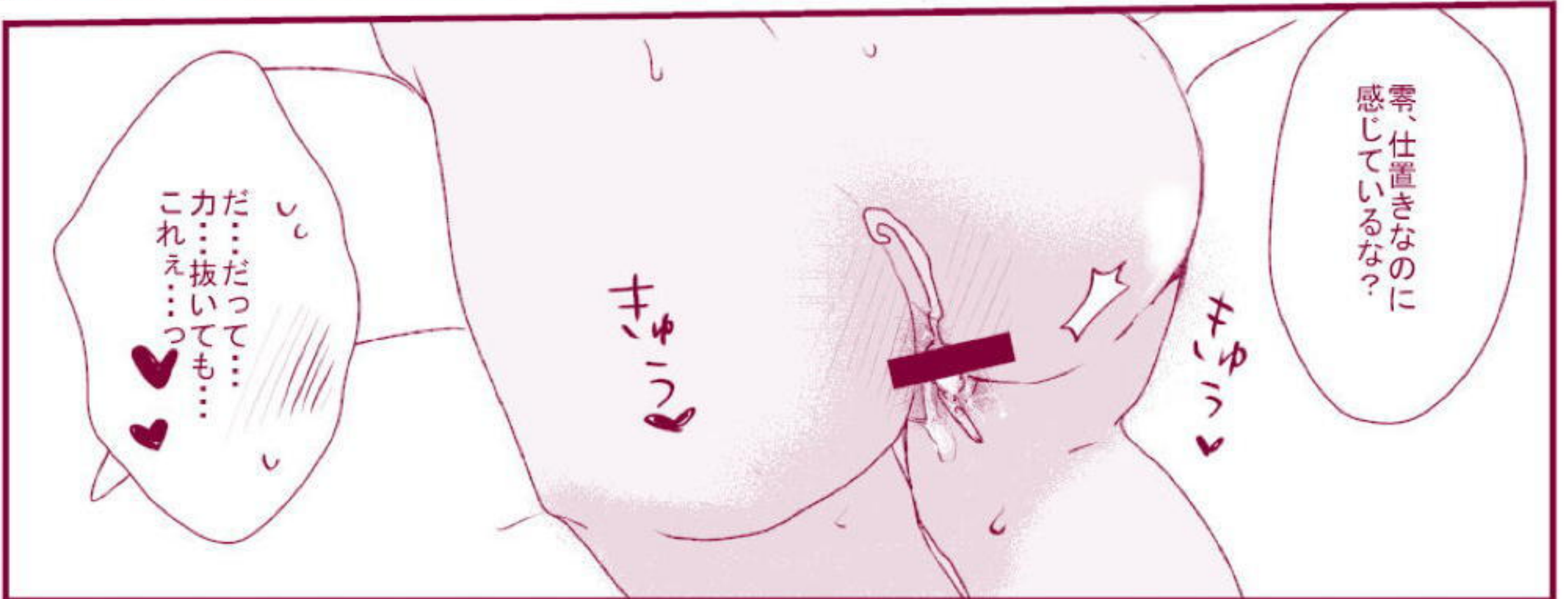
んん

んん

んん

んん













ぐずぐず...

自分で思っているより  
ずっと、あの言葉が  
堪えていたのか...?

あのFBIの男...  
本国に戻るん  
だろう?

ずっと...  
あんな、言葉が...



お  
よ  
う

!!



ほら  
掴まって  
少し冷たいぞ

はあ...

.....



ポ  
ッ

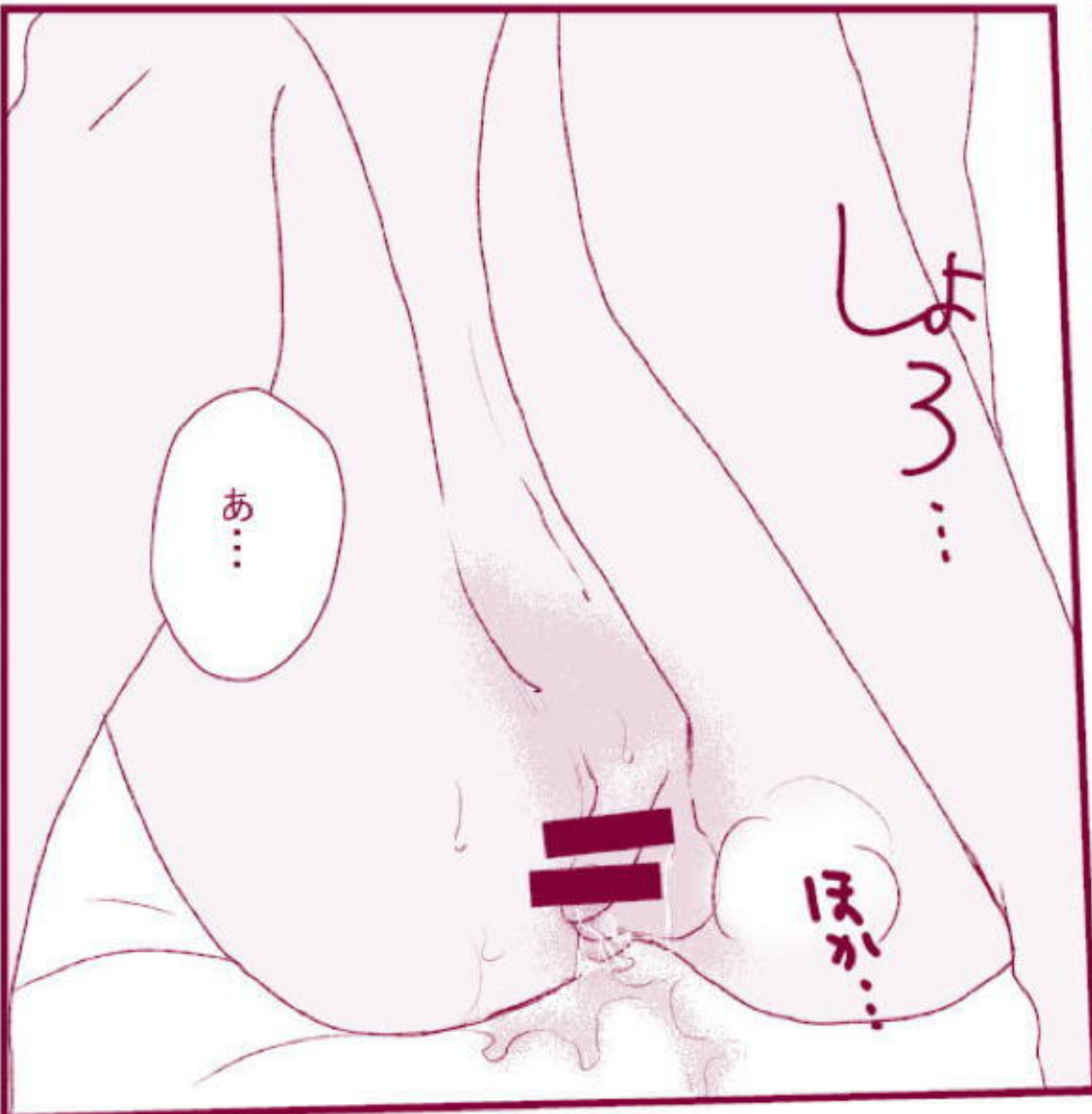
すまない...っ  
痛かったか?  
尻にクリームを  
塗ろうな...!!

ぐず

ぐず

あ  
い





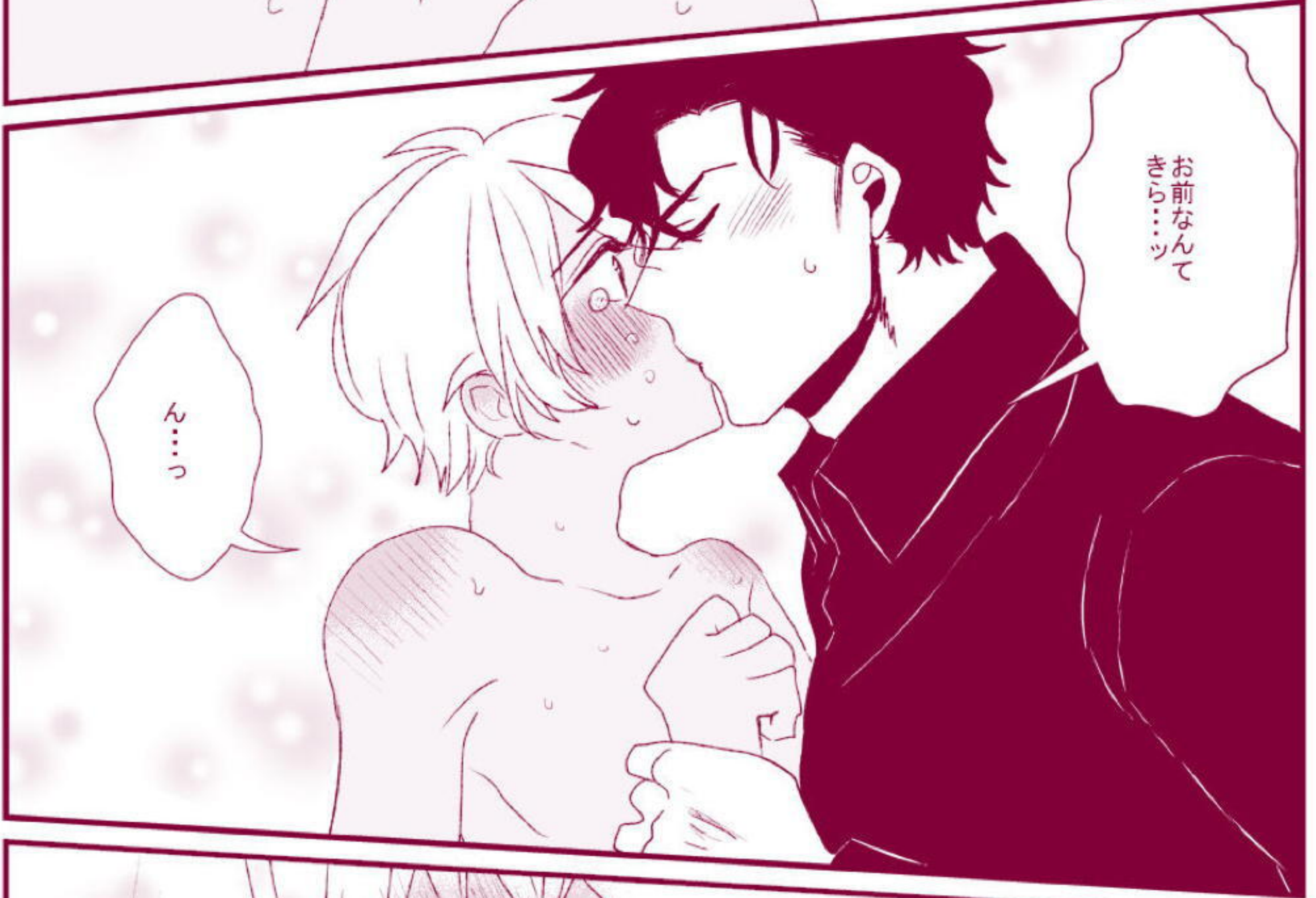




いやだ…っ  
こんなのでない…ッ

ふ  
ふ  
ふ

おればかり  
お前に夢中になって…ッ  
こんな身体に  
しやがって…やっぱり…



お前なんて  
きら…ッ

ん…っ



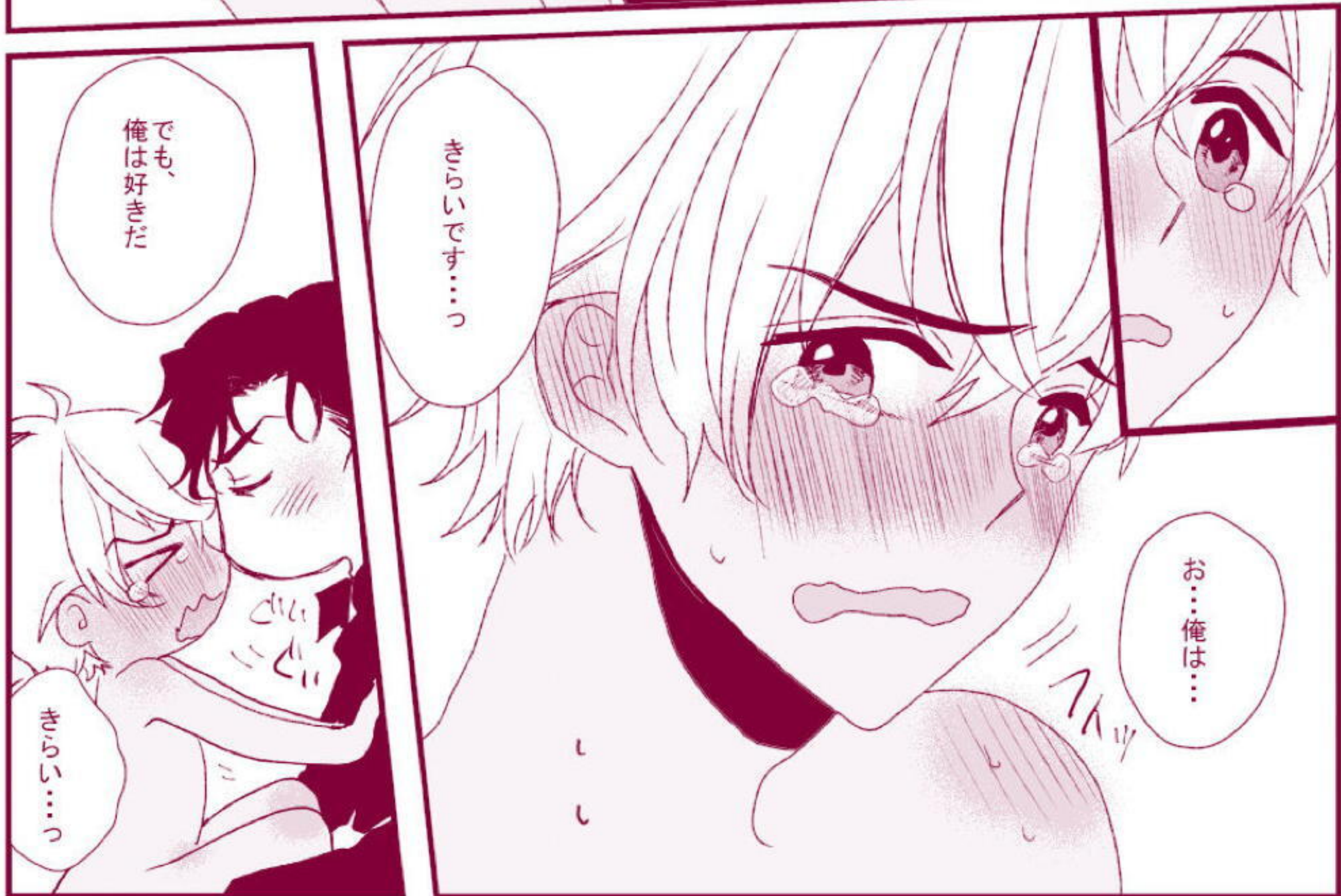




俺は

キス

愛してるよ



お…俺は…

きらいです…っ

でも、俺は好きだ

きらい…っ











かわいいすぎる

君が悪い

は〜!!?

なんで俺がかわいでか  
かからなくてか  
俺が誘ったからか  
誘いましたか  
俺が悪かったですか  
誘ったんですけど!!

いや、  
そうじゃない









いっしょ...

.....ッ



うん？

君だっ  
俺をずっと追いつけて  
墓場から掘り出して  
くれたらどう？



さいてーだ!!  
仕方ないでしょう!!  
30年生きてきて  
こんな体験初めて  
なんでですか!!  
ほんときらいです!!

俺は好きだ

すにやにや  
するな!!



まあ、まさか  
こんなに早く  
俺の胸に安心して

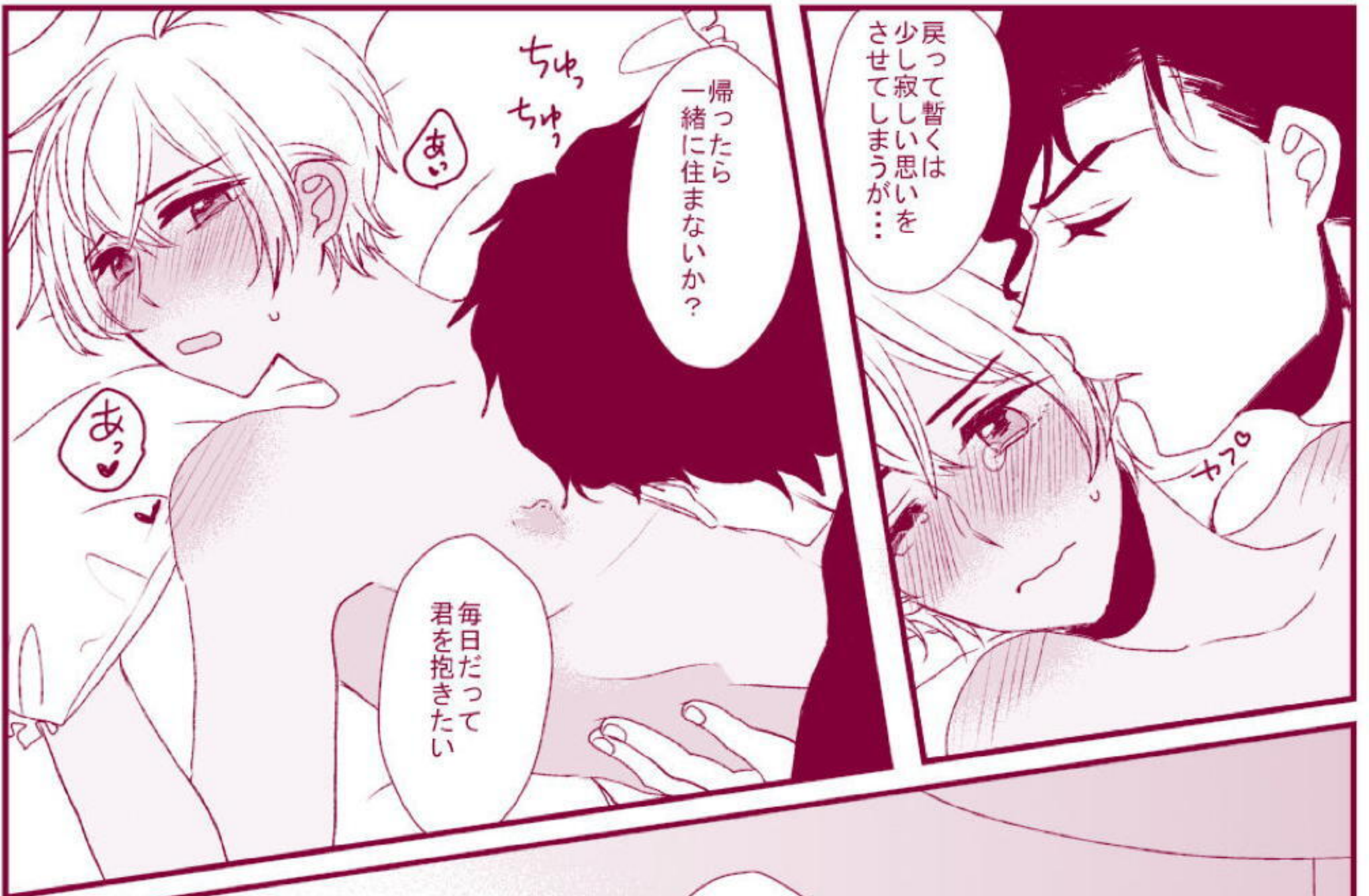
おもらしまで  
してくるような  
関係になつてくれると  
思わなかったけどな

ニヤニヤ

ガッッ

なっ





戻って暫くは  
少し寂しい思いを  
させてしまうが：

帰ったら  
一緒に住まないか？

あゝ

ちゅっ  
ちゅっ

あゝ

毎日だって  
君を抱きたい

カッ♡



だから



今夜は  
もう少し

頑張って  
みようか





カ  
シヤ

はずかしい…やだ…ッ

うん？

あかい…ッ



俺受強抵  
だけ引抗  
だけ入に  
なれてで  
なんてき  
だくても  
らるるい  
？のよう  
？のはに



君の身体は  
期待して  
いるようだ  
が？



こんな風  
に拘束し  
て…







